



International Exchange Center
Shimonoseki City University

The Trajectory

Vol.5



International Exchange Center

三方を海で囲まれ、古くから人的、物的交流の結節点として多様な国際関係を形成してきた下関市に位置する下関市立大学は、「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」を理念に掲げ、グローバル人材の育成に力を入れ、中国・台湾・韓国・アメリカ・トルコ・ドイツ・フランス・オーストラリア・キルギス・イタリア・チェコ・インドネシア・ベトナムに位置する 27 の大学と交流協定を締結し、学生の交流等を促進しています。

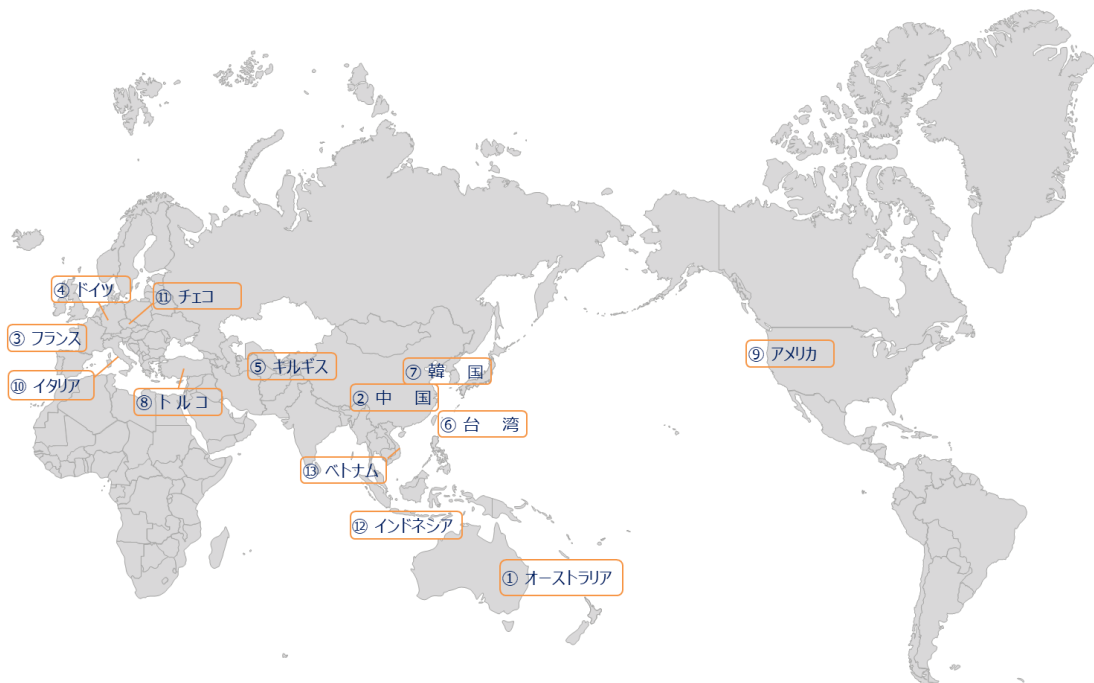
グローバル化が進展する社会を担うために、社会にはばたく直前の教育機関である大学には、グローバル人材を輩出することが期待されています。社会人基礎力の 3 つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」に加え、グローバルな多様性社会の中でそれぞれに違いがあることを学び、互いの強みを引き出して、回答の無い問題に柔軟に対応する力を持つ若者、地域性の理解とグローバルな視点を併せ持つ若者が、これからの時代には必要です。

下関市立大学国際交流センターでは、海外との国際交流とキャンパスでの国際交流、そして地域との国際交流の相互作用が若者のキャリアへと繋がり、グローバル社会で活躍する若者の育成に着目した取組みを推進しています。

協定校

下関市立大学には、3つの理念と目的があります。その中の一つに「東アジアを中心に広く世界に目を向けた教育と研究」があります。下関市立大学では下関からアジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているか、また、それがどのようにして作られてきたのかを理解できる教育を行っています。教職員と学生が一体となり、世界へ広がるネットワークを形成しています。

この理念に基づき、本学には世界各国に協定校があります。2026年3月現在、オーストラリアに1校、中国に3校、フランスに1校、ドイツに1校、キルギスに1校、台湾に2校、韓国に5校、トルコに1校、アメリカに4校、イタリアに2校、チェコに3校、インドネシアに2校、ベトナムに1校の合計27校の協定校があります。これらの協定校との交流は、学術交流や学生間交流等様々ですが、相互に交流を深めています。



①	オーストラリア	グリフィス大学 グリフィス大学附属英語学校	⑧	トルコ	ボアジチ大学
②	中国	北京大学 青島大学 上海師範大学	⑨	アメリカ	サンフランシスコ州立大学 ロス・メダニス・カレッジ ディアブロ・バレー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ
③	フランス	ボルドー・モンテーニュ大学	⑩	イタリア	シエナ大学 カ・フォスカリ大学
④	ドイツ	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	⑪	チェコ	ブラデツ・クラロヴェエ大学 シュコダ・オート大学 チェコ生命科学大学
⑤	キルギス	キルギス国立農業大学	⑫	インドネシア	ムハマディア・マラン大学 ブラウィジャヤ大学
⑥	台湾	銘傳大学 国立聯合大学	⑬	ベトナム	タンドン大学
⑦	韓国	東義大学校 木浦大学校 釜山外国語大学校 又松大学校 ハンシン大学校			

派遣留学

派遣留学とは、1 学期間～1 年間、本学に在籍したまま海外の協定校に留学することです。留学期間は 4 年間の修業年限に含まれます。また、派遣先大学で修得した単位は、帰国後所定の手続きを経て本学の授業科目に単位認定されます。

授業料は、原則下関市立大学に納入することになりますが、派遣先大学に授業料を納付する場合があります。その場合は所定の手続きを経て本学の授業料が免除されます。

なお、派遣留学申請をするためには、必要な資格や語学レベル等の条件があります。募集期間や派遣人数、試験内容、必要資格等は以下のとおりです。詳細については、国際交流センターへお問い合わせください。

1. 第 I 期派遣学生

- (1) 募集期間 10 月 1 日～11 月 20 日
- (2) 派遣先協定校 表 1,2 参照
- (3) 選抜試験の時期 11 月 20 日～12 月上旬(面接試験)
- (4) 派遣学生の決定 12 月第 4 週頃

表 1：英語圏

国名	アメリカ	トルコ	ドイツ	イタリア		チェコ	フランス
大学名	ロス・メダニス・カレッジ ディアプロ・パレー・カレッジ コントラ・コスタ・カレッジ	ボアジチ大学	ルートヴィヒス ハーフェン 経済大学	シエナ大学	カ・フォスカリ大学	フラデツ・ クラークヴェ 大学	ポルドー・ モンテーニュ大学
派遣期間	8 月～翌年 7 月		9 月～翌年 8 月				
	※1 学期間（1 セメスター）のみの申請も可能ですが、1 年間を希望する学生が優先となります。						
募集人数	4 名	2 名	2 名	3 名	4 名	2 名	7 名
選抜試験	面接試験						
必要資格 ※1	TOEFLiBT61 点 IELTS 5.5	TOEFLiBT79 点 IELTS 6.5	TOEFLiBT70 点 TOEIC 650 点 IELTS 5.5	CEFR B1 TOEFLiBT 42-71 点 IELTS 4.0-5.0	CEFR B2 TOEFLiBT 72-94 点 IELTS 5.5-6.5	CEFR B1 TOEFLiBT 42-71 点 IELTS 4.0-5.0	CEFR B2 (フランス語または 英語)
授業料 納入先	CCCCD の大学 (下関市立大学の 授業料は免除)		下関市立大学				

表 2：中国語圏

国名	中国		台湾
大学名	北京大学	青島大学	銘傳大学
派遣期間	9 月～翌年 8 月		
	※1 学期間（1 セメスター）のみの申請も可能ですが、1 年間を希望する学生が優先となります。		
募集人数	2 名	2 名	3 名
選抜試験	面接試験		
必要参考 資格 ※1	中国語検 3 級 HSK4 級	中国語検 4 級 HSK3 級	中国語検 4 級 HSK3 級
授業料 納入先	北京大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	下関市立大学	

※ 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受検していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時点で到達していなくても申込みが可能です。ただし、派遣先大学への留学申請までには必要スコアに達している必要があります。

2. 第Ⅱ期派遣学生

- (1) 募集期間 4月1日～5月20日
- (2) 派遣先協定校 表3参照
- (3) 選抜試験の時期 5月20日～6月上旬(面接試験・筆記試験)
- (4) 派遣学生の決定 6月第4週頃

表3：韓国語圏・英語圏

国名	韓 国					オーストラリア	
大学名	東義大学校	木浦大学校	釜山外国語大学校	ハンシン大学校	又松大学校	グリフィス大学	グリフィス大学附属英語学校(GELI)
派遣期間	3月～翌年2月				3月～翌年2月	2月～翌年1月	2月～7月
	※1 学期間（1セメスター）のみの申請も可能ですが、1年間を希望する学生が優先になります						1 学期間（1セメスター）
募集人数	2名	2名	2名	5名	2名	2名	
選抜試験	面接試験				面接試験		
必要資格 ※1	TOPIK やハングル検定など いずれかを受験していることが望ましい			TOPIK2 級 以上	TOEFLiBT59 点 IELTS 5.5 点	TOEFLiBT71 点 IELTS 6.0 点	英検、 TOEFLiBT、 TOEIC IELTS いずれかの受験結果
授業料 納入先	下関市立大学				下関市立大学	グリフィス大学 (下関市立大学の 授業料は免除)	GELI (下関市立大学の 授業料は免除)

- ※ 1 選抜試験までに語学力を証明できる検定を受験していることは必須ですが、スコアについては、選抜試験時点で到達していなくても申込みが可能です。ただし、派遣先大学への留学申請までには必要スコアに達している必要があります。
- ※ 2 東義大学校、木浦大学校、釜山外国語大学校については、派遣先大学への留学申請時の語学力証明の提出は必須ではありませんが、派遣先での授業履修の際に証明書の提出を求められる場合があります。
- ※ 3 又松大学校は韓国にある大学ですが、英語で授業を履修する協定校です。

外国研修

外国研修とは、長期(夏・春)休業中に2～5週間、海外の協定校で行う語学研修です。外国研修では、語学研修だけでなく様々な文化体験や交流行事が予定されています。

外国研修（英語）は、アメリカ、オーストラリア、フランスなどで2～5週間、外国研修（中国語）は、中国や台湾で2～3週、外国研修（韓国語）は、韓国で2～3週間実施します。

外国研修は正規の授業科目で、単位認定(2単位)されます。

この単位は、学期ごとの履修制限単位数の制限外です。

過去の記録

	2025年度			2024年度		
	受入機関	国名	参加学生数	受入機関	国名	参加学生数
英語	サンフランシスコ 州立大学	アメリカ	10名	グリフィス大学附属 英語学校(GELI)	オーストラリア	10名
	ボルドー・ モンテニュ大学	フランス	1名			
中国語	上海師範大学	中国	14名	青島大学	中国	16名
韓国語	ハンシン大学校	韓国	12名	ハンシン大学校	韓国	15名
合計	37名			41名		

私費留学

海外の大学や語学学校などへ個人的に留学をすることができます。留学先は、本学の協定校や附属の語学学校、その他の大学や大学附属の語学学校、語学専門学校など選択肢は様々です。

留学生の受入れ

下関市立大学では中国、韓国、ベトナム、ドイツ、フランスなどの国々からやってきた留学生が下関市立大学で修学しています。彼らと共に学び、サークル活動やイベントに参加することで、国際交流や国際理解、異文化理解が深まります。

外国人留学生には4年間修学する学部留学生、協定校からの交換留学生、大学院で2年間修学する大学院留学生がいます。

留学体験レポート

外国研修

外国研修（英語）

【研修先】 サンフランシスコ州立大学（アメリカ）

【滞在期間】 2024年8月10日(日)～9月1日(月)（22泊23日）

【参加人数】 10名

【研修内容】

日にち	時刻	内容
8月10日(日)		サンフランシスコ州立大学到着
8月11日(月)	9:00-12:00	プログラムの概要紹介、オリエンテーション(クラス紹介)
	13:00-	11日(月) キャンパスツアーとサンフランシスコ湾クルーズ
8月12日(火) ～ 8月15日(金)	9:00-12:00	英語の授業
	13:00-	12日(火) ゴールデンゲートブリッジとパレス・オブ・ファインアーツ視察
		13日(水) ロンバード通りとケーブルカー博物館視察
		14日(木) GLBT 歴史協会&ドロレス・パーク視察
		15日(金) ランズ・エンドとサトロ・バスのハイキング
8月16日(土)	終日	自由行動
8月17日(日)	終日	自由行動
8月18日(月)	9:00-12:00	英語の授業
	13:00-	18日(月) 祝祭行事参加
8月19日(火)		
8月20日(水)	終日	シリコンバレーツアー
8月21日(木)	9:00-12:00	英語の授業
	13:00-	21日(木) 科学教育施設視察
8月22日(金)		
8月23日(土)	終日	自由行動
8月24日(日)	終日	自由行動
8月25日(月) ～ 8月29日(金)	9:00-12:00	英語の授業
	13:00-	25日(月) カリフォルニア科学アカデミー視察
		26日(火) 講演会・野球観戦
		27日(水) 自由行動
		28日(木) ディズニー・ファミリー・ミュージアム等視察
29日(金) 視察		
8月30日(土)	帰国	
8月31日(日)	日付変更線通過・乗換	
9月1日(月)	帰着	

【滞在方法】 サンフランシスコ州立大学が指定するホテル

【参加費用】

研修代金総額 806,000 円

(航空券及び空港諸税、燃油サーチャージ等、プログラム費用、寮費、
観光・文化体験費用、空港までの送迎、緊急サポート費用、手数料含む)

学研災付帯海外留学保険 6,750 円 (23日間)

その他 食費、通信費、交通費(研修費用に含む金額を除く)

サンフランシスコでの外国研修を通して

所属：経済学部公共マネジメント学科

氏名：高田 彩乃

私は8月10日から3週間、アメリカのサンフランシスコで外国研修に参加しました。サンフランシスコという街に滞在したことで、語学の面だけでなく、文化や価値観の違いを肌で感じることができ、本当に貴重な経験となりました。

大学での授業は1クラス25人ほどで、全員が日本人でした。最初は「日本人ばかりで大丈夫かな」と少し不安に思ったけれど、授業にはカンパセーションパートナーという現地の大学生や他国出身の学生がいて、その人たちと交流することができました。授業のたびに英語で会話をする時間があり、相手や自分の出身国や文化について話を聞いたり、自分のことを伝えたりする中で、自分が言いたいことをなんとか英語で伝えようとする中で英語を使う力がついていったと思います。もちろん言いたいことがうまく伝えられなかったり、相手の言葉が聞き取れなかったりする場面も多かったけど、相手は真剣に耳を傾けてくれて、自分の力で伝えることと伝わった時の嬉しさを学ぶことができました。

生活面でもたくさんの発見がありました。まず驚いたのは商品のサイズや味付けが日本とは全く違い、量もとても多かったことです。はじめは見た目がおいしそうなのを自分で選ぶだけだったけど、店員さんに聞いてみたりするとフレンドリーに、どれがおすすめかなどをたくさん教えてくれたり店員さんの好きなメニューを教えてくれたりするなど買い物や注文の場面でもたくさん会話できました。ちょっとしたやり取りではあったけど英語でもコミュニケーションが成立していることを感じてとても嬉しかったです。

あとは、街並みや人々の雰囲気も強く印象に残っています。サンフランシスコは本当に多様な人が暮らしていて、国籍も見た目も服装もさまざまでした。自分らしさを大切にしているように感じてすてきなと思いました。街の建物や景色も日本とは全然違って、散歩するだけでも新鮮な発見がありました。さらに、町中を Weimo という無人のタクシーが普通に走っていて、日本ではまだほとんど使われていなかったからワクワクしました。こうした最先端の技術が人々の生活に自然に取り入れられている様子を見て、サンフランシスコという街の持つ魅力を改めて感じました。

この3週間を通して、英語力の向上はもちろん、自分の視野を広げることができたと思います。特に、現地の人ともっと自由に会話したいのに、言葉がうまく出てこなくてもどかしい思いをした経験は、勉強のモチベーションアップにつながったと思います。だからこそ、帰国してからは「もっと英語を勉強して、自分の言葉で思ったことを伝えたい」という気持ちがこれまで以上に強くなりました。短い期間だったけれど、この研修で得た刺激や学びは、これからの大学生活や将来に必ずつなげていきたいと思っています。



私が留学で感じたこと

所属：経済学部国際商学科

氏名：安原 宗利



アメリカのサンフランシスコにあるサンフランシスコ州立大学で行われた短期外国語研修に参加しました。このプログラムに参加することで得られたことなどを振り返っていきます。留学を目的に海外に行くことは数回ありましたが、アメリカに行くことは初めてだったので、とても緊張しました。

サンフランシスコの物価は日本と比べてとても高く、外食をするなら日本円で約 2000 円は簡単にかかってしまいます。気候や気温に関しては、雨季と乾季に分かれていて太平洋から流れてくる霧の影響で 8 月中はとても涼しかったです。またサンフランシスコの治安は日本と比べるととても悪く、ホームレスや不審者がよく目に入ったので注意が必要でした。

留学期間中の日々の生活はとても楽しかったです。午前中はサンフランシスコ州立大学で英会話の授業を受け、昼食を自分たちの好きな場所でとり、午後は州立大学の生徒がガイドとして観光をするという毎日でした。授業は約 20 人で行い、主に英会話に力を入れてました。授業の後半はカンパセーションパートナーという現地の学生との会話を楽しみました。この授業によって、自分のスピーキング能力やリスニング能力の低さに悩みましたが、現地の学生は優しく私の不完全な英語を聞いてくれて、とても挑戦しやすい環境でした。サンフランシスコ州立大学は他国からの学生が多く、自国の文化や趣味などの会話がとても楽しかったです。私はこの授業を受けて自分の英語能力の低さを実感し、スピーキングやリスニングを向上に力を入れていきたいと感じました。また現地の人との会話で英会話をすることや挑戦をする楽しさ、主体性の大切さを知りました。

私は滞在中に困った経験をたくさんしました。特に困った 2 つの出来事を紹介します。私は通学などの移動に必要なミュニパスと言われる定期を無くしました。無くした場合は、もう一度購入しなければならず、多くのお金が必要でしたが、現地ですぐ友人が余っているパスを譲ってくれました。また私は現地で病気になり、病院に行きました。病院には予約が必要であり、授業の先生や事務員さんの力を借りて、難を越えることができました。私はこれらの経験で、自分が緊急の時は自分から助けを求めて他者の力を借りる大切さを知りました。現地の学生や先生、事務員さん達はとても親切でした。もし自分の英語力がなくても必ず相談は必要と感じました。

この一ヶ月間の短期留学で、英語や様々な文化、新しい価値観などを得ることができました。サンフランシスコ州立大学は他国からの生徒が多く、海外でしかできないような経験をすることができました。この留学は私の英語勉強のモチベーションになり、自分の貴重な経験になりました。この経験をもとに様々な事に挑戦していきたいと思います。

参加費用以外の経費

通信費 約 2,500 円、交通費 約 1,500 円
食費 約 250,000 円

通学方法と所要時間

バスと電車 約 40 分

滞在中に持参した方がよいもの

ハンガー、クレジットカード、日本の食品

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

友人と大通りで買い物、観光

参加してよかったこと

様々な文化を肌で感じることができること、英語能力の上達

大変だったこと、困ったこと

病院に行くこと、通学時間が長いこと、食費がとてもかかること

外国研修（中国語）

【研修先】 上海師範大学（中国）

【滞在期間】 2025年8月10日(日)～8月24日(日) 14泊15日

【参加人数】 14名

【研修内容】

日にち	時刻	内容
8月10日(日)	上海師範大学到着	
8月11日(月)	8:40-10:00	開校式
	10:30-12:00	中国語の授業
8月12日(火)	14:00-15:30	現地大学生との交流会
	8:40-10:10	中国語の授業
8月15日(金)	10:30-12:00	中国語の授業
8月16日(土)	終日	蘇州日帰り旅行
8月17日(日)	終日	自由行動
8月18日(月)	8:40-10:10	中国語の授業
	10:30-12:00	中国語の授業
	14:00-15:30	文化体験授業(水墨画あるいは中国書道)
8月19日(火)	8:40-10:10	中国語の授業
	10:30-12:00	中国語の授業
8月20日(水)	8:40-10:10	中国語の授業
	10:30-12:00	中国語の授業
	14:00-15:30	文化体験授業(中国茶文化)
8月21日(木)	8:40-10:10	中国語の授業
	10:30-12:00	中国語の授業
8月22日(金)	8:40-10:10	中国語の授業
	10:30-10:50	試験
	11:00-12:00	終業式
8月23日(土)	終日	自由行動
8月24日(日)	帰国	



【滞在方法】 上海師範大学の寮

【参加費用】

研修代金総額 183,540円

(航空券及び空港諸税、燃油サーチャージ等、プログラム費用、寮費、観光・文化体験費用、空港までの送迎、緊急サポート費用、手数料含む)

学研災付帯海外留学保険 5,220円 (15日間)

その他

食費、通信費、交通費(研修費用に含む金額を除く)

外国研修（中国）を終えて

所属：経済学部経済学科

氏名：笹方舞依



8月10日より14日間、上海師範大学にて行われた外国研修に参加しました。大学生活で最後の夏休み、私はこの研修に思い切って参加してよかったと本当に心から思っています。もともと、中国に興味があり、様々なプログラムに参加してきましたが、まったくもって中国語を話せない状況でした。私が中国語を理解できるようになれば、会話が弾み中国の友達との仲もより一層深められるようになると思う一心でこの研修に挑みました。最終的に、伝わらないことは多々ありましたが、中国語のレベルはかなり上がったと身に沁みて感じています。

この研修で最も印象に残っていることは、中国がかなり進んだ国であることを知れたことです。支払いも、注文も、タクシーを呼ぶのでさえも、すべて携帯ひとつで行います。中国語を使ってみたく私にとっては、話す機会が失われているようで少し残念に思いましたが、日本とはまた違い中国ならではの文化を肌で感じれたことは大変良かったと思っています。逆に、携帯が離せない状況になっているのが、非常に怖くもありました。大変便利で、すぐ頼ってしまいたくなる携帯ですが、もしそれを忘れたら、充電が切れてしまったら、と考えると不安でいっぱいでした。

また、中国語のみならず、ほかの言語にも触れられたことが私にとって大変いい経験となりました。授業は基本的に英語や中国語で行われ、順番に発表をしていくようなスタイルでした。自然と自分の英語力も共に上がっていったような気がします。さらに、クラスメイトには日本のみならず、ナイジェリア、フランス、韓国からの学生がいました。私は特に韓国の学生と交流を深めました。私と彼女の間の共通言語は中国語で、スムーズなコミュニケーションをとることは難しかったですが、彼女の高い中国語能力に何度も助けられました。2週間とかなり短い期間ではありましたが、大変濃い時間を送ることができたと思っています。

短い研修の中でも様々な観光地に行くことができました。大学から上海の中心地である南京路步行街や外灘まで地下鉄で30分ほどで非常に便利でした。また、上海動物園でパンダを見たり、上海ディズニーへ行ったり、上海の若者に人気のカフェに行くなど毎日休む暇なく充実した日々を送ることができました。2週間でここを離れるのが大変名残惜しいと思えるほど、快適な日々を送りました。観光地を巡るのも興味深かったですが、私は、なかでもカフェやミルクティー屋さんで何気ない時間を過ごすことの方が楽しかったような気がします。日本とは違い、安くて大容量のミルクティー屋さんやコーヒー屋さんがたくさんあります。自分のお気に入りのお店を探すのも楽しいかもしれません。

最後に、研修に参加するにあたって、私と関わってくれたすべての方々への感謝の気持ちでいっぱいです。4年生1人でこの研修に乗り込み、初めはどうなることやらと不安しかありませんでしたが、先生方をはじめ、共に参加した学生の皆さんなど、快く私と接してくれた皆さんには感謝しかありません。自分の語学能力を向上させるものだけでなく、人としても成長できた研修になったと思っています。この経験を活かし、残り少ない大学生活でさらなる国際交流に貢献できればと思います。

参加費用以外の経費

通信費 約4000円、交通費 約1500円、
食費 約10000円

通学方法と所要時間

徒歩（7分）

滞在するのに持参した方がよいもの

薬、ティッシュ、除菌シート、虫よけ、室内用スリッパ
(なくてもほとんど現地で調達できます。少し高いですが、
日本のものもあります。)

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

授業後は近くのショッピングモールへ行ったり、校内を散歩したり、上海の中心地までも、電車ですぐなので、カフェやパン屋さん巡り、お土産調達をしていました。他にも苏州へ行ったり、夜景を見たりしました。

参加してよかったこと

中国語以外での交流もできたこと

大変だったこと、困ったこと

特にありません。強いて言うなら、1人前のご飯の量が多すぎたこと。

充実した中国語研修

所属：経済学部国際商学科

氏名：中嶋 真理



2025年8月10日～8月24日の2週間、上海での中国語研修に参加しました。私にとって初めての海外であり不安もありましたが、様々な気づきと刺激のある経験ができ、とても充実した2週間になりました。

私がこの研修に参加しようと思ったきっかけは新しい価値観や文化に触れて自分の中の世界を広げたいと思ったからです。初日の空港から寮へ移動する際にバスで移動しました。その際左右で見える景色が全然違っており、右手には高層ビル、左手には古い住宅街といった貧富の差に驚きました。

中国語の授業は平日90分×2が午前中に行われました。中国語の先生は2人おり、女性の方でとても親しみやすい方たちでした。休み時には有名な洋楽を流していただき、日本人以外の留学生とも共通認識のあるものであったため仲良くなることができました。また、授業の中では「幸せなら手をたたこう」の曲を中国 Ver.で歌いました。最初は何を言っているのか全く分からなかったけれど、卒業の際にみんなで歌った時にはジェスチャーを自信もって付けられるくらいになりました。授業は大学ではまだ習っていない範囲まで進み焦りましたが、先生が丁寧に教えてくださりました。また積極的に発表をして学習意欲を自ら高められたと思います。

上海師範大学には食堂やカフェがありお昼に利用しました。木々が鮮やかでとても過ごしやすい環境でした。外灯も多いため夕方から夜にかけて散歩もできました。生活担当の大学院生の先生にアドバイスを頂きながら中国の生活に慣れていきました。

ほぼ毎日どこかに出かけていたため、一日およそ1万5000歩は歩いていました。地下鉄の移動は2～3元（約20～60円）、バスでも2元あれば7キロ先のお店にも行くことができました。交通費がとても安いことがとても魅力でした。バスは発車時刻がスマホの検索では表示されず、発車の数分前に表示されるか、バス停まで行かないと分からなかったため難しかったです。一方で地下鉄は5分おきに走っているためどのタイミングで行ってもすぐに乗ることができました。また、上海には歩道沿いに貸出自転車が置いてあり1回数十円で乗ることができました。

食事は中華料理、外食以外にもスーパーで買ったカップラーメンやカップそばなどにも挑戦したりしました。水を少し入れただけでできる非常食のようなものまで売っており、一食6元～9元（約120～200円）で満腹食べられました。外食をしても500円以内に収まる程度で、想像していたよりも安くおいしく食べられて幸せでした。たまに日本が恋しくなる時には日本にもあるマクドナルド、サイゼリヤ、ケンタッキーなどに行きました。トイレトペーパーが流せないことが一番の驚きでした。場所によっては流せるところもありましたが基本はごみ箱に捨てる方式のためなかなか慣れませんでした。またセミの鳴き声が日本と違って不思議でした。中国人の方は想像していたよりもずっと親切で様々な場面で助けていただきました。また、支払いが全てキャッシュレスであることも日本との大きな違いであったと思います。

日を重ねるごとに日常で使える言葉が増え、翻訳アプリに頼り切らなくても通じた時、聞き取れたときの嬉しさは今でも忘れられません。さらに日を重ねるごとに帰りたくないと思うようになるくらい過ごしやすかったです。

上海で過ごした2週間は毎日が充実しており一緒に行った友達はもちろん、先輩や他国の留学生とも仲良くなり、連絡先を交換して今でも話しています。ここでしかできない貴重な出会い、経験に心から感謝しています。中国語の勉強を始めて4ヶ月でも何とかなることを実感でき、さらに新しいことへ挑戦することの重要性を知ることができたので、今後の生活にも生かしていきたいです。

参加費用以外の経費

通信費 約 6000円、交通費 約 1000円、食費 約 12000円

通学方法と所要時間

徒歩約10分（学内寮）

滞在するのに持参した方がよいもの

トイレトペーパー（携帯用）、スリッパ、日本食、ハンディファン、胃腸薬

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

授業後はその日習ったことの復習をしたり、習った単語や言い回しを利用して買い物をしたりした。休日は遠出して観光した。課外活動は、中国茶の知識を学び、中国書道をした。

参加してよかったこと

中国人の方も含め外国人留学生ともコミュニケーションをとり仲良くなれたこと。中国語を話すことに自信がついた。

大変だったこと、困ったこと

滞在して約3日間は中国独特の匂いに慣れなかったこと。

外国研修（韓国語）

【研修先】ハンシン大学校（韓国）

【滞在期間】2025年8月10日(日)～8月23日(土)（13泊14日）

【参加人数】12名

【研修内容】



8月10日(日)	出発 福岡発～仁川着 ハンシン大学校ソウルキャンパス 入寮
8月11日(月)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 景福宮 韓服体験（韓国人バディと 参加者1名に1名）
8月12日(火)	9:00～12:00 13:00 授業
8月13日(水)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 韓国人バディ交流 参加者1名に1名
8月14日(木)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 聖水洞・ハップル・ツアー（韓国人バディと 参加者1名に1名）
8月15日(金)	終日 自由行動
8月16日(土)	終日 自由行動
8月17日(日)	終日 自由行動
8月18日(月)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 自由時間
8月19日(火)	9:00～12:00 授業
	13:00～ チャムシル観光
8月20日(水)	9:00～12:00 昌徳宮 訪問
	13:00～ 景福宮 訪問
8月21日(木)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 韓国人バディと 参加者1名に1名
8月22日(金)	9:00～12:00 授業
	13:00～ 自由時間
8月23日(土)	帰国 仁川発～福岡着・解散



【滞在方法】ハンシン大学校の寮

【参加費用】

研修代金総額 210,000 円

（航空券及び空港諸税、燃油サーチャージ等、プログラム費用、寮費（昼食付き）、観光・文化体験費用、空港までの送迎、緊急サポート費用、手数料含む）

学研災付帯海外留学保険 約 5,020 円（14日間）

その他

食費(授業日の昼食を除く)、通信費、交通費(研修費用に含む金額を除く)

韓国で出会った温かさと学び

所属：経済学部経済学科

氏名：谷内山 暖



2025年8月10日から8月23日の約2週間、韓国のソウルにあるハンシン大学の外国研修に参加しました。参加した理由は、韓国の文化に興味があり実際に体験してみたいと思ったからです。また、授業で身につけた自分の韓国語が現地でもどこまで通用するのか試してみたいという気持ちもありました。初めての海外で不安もありましたが、何事も挑戦が大事だと思い外国研修に応募しました。

まず空港を出て一番感じたことは、韓国と日本の街並みの違いです。韓国の街並みは日本よりもカラフルで、歩くだけでもとても楽しかったです。また、韓国はカフェがとても多く、どこへ行ってもすぐにカフェに入り休憩することができてよかったです。

韓国に着いて次の日は、午前中に授業を受け、午後からはチューターの方と景福宮へ行き韓服を体験しました。午前中の授業は主に韓国語の基礎を学びました。下関市立大学での授業では習わなかった、実際に韓国人がよく使うネイティブな言葉も多く教わることができました。チューターの方々は日本語を話せる方が多く、私が韓国語をうまく話せなかったときは助けてくれたり、地下鉄に乗る際にも乗り方を教えてくれてすごく優しい方たちでした。チューターの方とはできるだけ韓国語で会話しようと頑張っていたので、韓国語のリスニング、スピーキングがこの2週間とても鍛えられた気がします。最初は韓国人とうまく会話できるか不安だったのですが、そんな心配はすぐにどこかに行くと、むしろ、もっと話していたかったと感じるほどとても楽しかったです。

午後の自由時間は主に、友達と明洞や聖水に行きました。明洞は観光客が多く、日本人観光客も多く見られました。2週間の間に3回ほど明洞に行ったのですが、ハンシン大学の最寄りの駅から地下鉄で乗り換え一回で行けるので、とても行きやすかったです。夕方くらいになると屋台も増えてきて、すごくにぎわっていました。聖水はカフェやセレクトショップが集まっており、韓国のおしゃれな雰囲気を感じることができました。私は、ここで韓国っぽいおしゃれな服を何着か買うことができました。明洞、聖水もそうですが、どの場所に行っても韓国人の人たちが優しく話しかけてくれて、韓国人の温かさをすごく感じました。

チューターの方々会う最後の日には、みんなで漢江に行きピクニックをしました。午後の5時くらいに行ったのですが、少しオレンジ色になった太陽が漢江に反射しキラキラ輝いていて、とてもきれいでした。おすすめしてもらったチキンとトッポッキの組み合わせは最高すぎて今でも思い出して食べたくなります。夜には漢江でライトアップ噴水ショーが行われており、音楽と光に合わせて水が躍る幻想的な光景にとっても感動しました。

最後に、私はこの2週間を通して、人の温かさはもちろん、挑戦することの大切さを学びました。初めての海外で不安でしたが、現地の方の温かさで不安もどこかに飛んでいきましたし、挑戦していなかったらこの事を知ることもできなかったもので、外国研修に参加して本当に良かったです。この2週間で培った経験、学びを大切に、これからの自分の成長につなげていきたいです。また、外国研修でできた韓国人の友達とのつながりも大切に、交流を深めていきたいと思いました。

参加費用以外の経費

通信費 約 4000 円、交通費 約 15000 円、食費 約 50000 円

滞在するのに持参した方がよいもの

- ・自分に合った薬(韓国の薬は大きくて飲み込むのが大変です)
- ・日傘 ・クレジットカード(二枚以上) ・

参加してよかったこと

- ・韓国人の友達ができた。
- ・何よりすごく充実して楽しい2週間だった!!

通学方法と所要時間

徒歩 3 分

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

- ・ショッピング ・ロッセワールド ・観光地巡り ・カフェ巡り
- ・バスツアー ・チムジルバン ・漢江ピクニック ・

大変だったこと、困ったこと

- ・お腹を壊した。 ・ご飯がおいしすぎて太った。

韓国での出会いと学び

所属：経済学部 公共マネジメント学科

氏名：旭 千結音



2025年8月10日から二週間、韓国ソウルにあるハンシン大学での海外研修に参加しました。来年の交換留学に向けて、旅行のような短期的な滞在ではなく、実際に韓国で生活する経験を積みたいと考えました。その中でも特に、現地の人々と交流し、自分の目で韓国の文化や価値観を確かめたいという思いが強く、今回の海外研修の参加を決めました。

今回の海外研修での一番の目標は、怖がることなく積極的に韓国語で会話をすることでした。今までは、文法が違っていたり、一回で聞き取ってもらえなかったらどうしようなどと思い、現地で韓国語を話すことを怖がっていました。しかし、今回の海外研修ではタクシーの運転手さんや食堂のおばあちゃんなどと世間話をして、日常的なやり取りを重ねる中で、臆せずに返答でき自信ができました。こうした生活の中での実践的な会話は、教科書では得られない貴重な経験になりました。

大学での授業は参加した人数が例年より少ないこともあり基本からの復習でした。しかし、先生が現地の人がよく使う自然な表現や、若者言葉を教えてくださり、実際の会話に役立つ知識を身につけることができました。先生が中国の方で、日本にも留学経験があり、韓国在住ということもあって、先生ご自身の経験から語られる「中国人の目に映る韓国文化」の話はとても新鮮で、自分とは異なる視点で韓国を捉えることができ、視野が広がりました。

今回の研修では、韓国の方のフレンドリーさと面倒見の良さを強く感じました。学食ではおじいさんが「今日も完食だね！おいしかった？今日はなににするの？」と毎日気にかけてくださり、帰国する前日には「孫みたいにかわいい子たちだったからさみしい、また来てね」と言ってくださるとても心が温かくなりました。学校の近くの子キン屋さんでは、おばあさんがたくさん食べるとサービスしてくださったり、通りがかるたびに気を付けていってらっしゃいと声をかけてくださいました。これまで、韓国の年配の方々には日本に対していいイメージを持ってないと耳にすることが多かったのですが、実際に韓国で生活してみて、そのような印象を強く感じることはほとんどありませんでした。私たちが研修に行った期間は、ちょうど韓国の光復節と重なっており不安でしたが、年配の方と話をすることで「政治的なことは別として、日本人や日本文化は好きだしもっと交流したい、こうやって日本人が留学に来てくれるのはすごくうれしい」と言ってくださったことがとても印象に残りました。日本と韓国間では政治面で問題や断絶があると感じることもありますが、歴史や政治面を超えて、人と人が直接関わることの大切さを改めて学ぶことができました。また、チューター活動を通して仲良くなった現地の友達も、自由時間に何をするか気にかけて連絡してくれたり、施設の予約を手伝ってくれたりしました。日本に来た時や、私が韓国に行ったときは遊ぼうと計画を立てているのすごく楽しみにしています。普段の生活ではなかなか出会えないような人たちと交流でき、新しい友達ができたことがとてもうれしかったです。

今回の経験を土台にして、来年予定している交換留学ではさらに積極的に人とのつながりを広げ、異文化理解を深めていきたいと思います。最後にこのような貴重な経験ができたのは、快く送り出してくれた両親や、支えてくださった先生方、韓国で出会った方々のおかげです。心から感謝するとともに、今回学んだことを今後の学びや生活に生かし、より一層努力していきたいです。

参加費用以外の経費

通信費 約 10000 円、交通費 約 15000 円、食費 約 50000 円

滞在するのに持参した方がよいもの

クレジットカード 2 枚以上、常備薬(風邪薬、酔い止め)、折り畳みの日傘、薄手のカーディガン(冷房が強くて寒かった)

参加してよかったこと

怖がることなく、韓国語を話せるようになり自信がついた。
韓国人の友達がたくさんできた。

通学方法と所要時間

徒歩 5 分

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

ショッピング、ロッテワールド、カフェ巡り、漢江でピクニック、チムジルバン、バスツアー

大変だったこと、困ったこと

ご飯がおいしすぎて太った、寮のトイレが詰まった 虫が多い

外国研修（英語・フランス）

【研修先】 ボルドー・モンテニュ大学（フランス）

【滞在期間】 2026年2月15日(日)～2月28日(土) 13泊14日

【参加人数】 1名

【研修内容】



2月15日(日)	ボルドー到着	
2月16日(月)	10:00-13:00	歓迎朝食会、キャンパスツアー、アイスブレイク活動
	14:00-16:00	フランス語の授業
2月17日(火)	10:00-12:00	英語での授業
	14:00-16:00	アキテーヌ博物館(Musée d'Aquitaine)見学
2月18日(水)	9:00 - 11:00	フランス語の授業
	11:00 - 13:00	英語での授業
	14:00 - 16:00	文化体験活動
2月19日(木)	10:00-12:00	英語の授業
	14:00 - 16:00	シテ・デュ・ヴァン博物館 (Cité du Vin) 見学
2月20日(金)	10:00-12:00	フランス語の授業
	14:00 - 16:00	文化体験活動
2月21日(土)・22日(日)	自由行動	
2月23日(月)	9:00 - 11:00	英語での授業
	11:00 - 13:00	英語での授業
	14:00 - 16:00	フランス語の授業
2月24日(火)	10:00-12:00	英語での授業
	14:00 - 16:00	バスサン・デ・リュミエール (Bassin des Lumieres/ 元潜水艦基地・現アートセンター)展示見学
2月25日(水)	9:00-18:00	サン＝テミリオン (St Emilion) への日帰り旅行
2月26日(木)	10:00-12:00	英語での授業
	13:30-15:30	英語での授業
	15:30-17:30	フランス語の授業
2月27日(金)	10:00-12:00	お別れの集い
2月28日(土)	出発	

【滞在方法】 ボルドー・モンテニュ大学が指定する宿泊施設

【参加費用】 **研修代金総額 618,940 円**（航空券等の旅費、プログラム費用、宿泊費、観光・文化体験費用を含む）

学研災付帯海外留学保険 5,530 円（17日間）

その他 食費、通信費、交通費(研修費用に含む金額を除く)

優美な国 France

所属：経済学部国際商学科

氏名：鬼塚 翠



2月から3月にかけての約2週間、私は英語を学ぶための海外研修としてフランスを選びました。まず、なぜ私がフランスを選んだのかについて紹介します。

英語の海外研修といえば、英語圏の国をイメージする方が多いと思います。しかし、フランスは多民族国家であり、さまざまな文化を持つ人々が集まる多様性に富んだ国です。そのため、特に若い世代を中心に多くのフランス人が英語を話すことができ、さまざまな文化に触れながら英語を学ぶことができます。

また、私は第二外国語としてフランス語を履修していたため、これまでに学んだ知識を現地でアウトプットしたいと考え、フランスを選びました。フランス語に自信がない方や、英語だけでは不安だと感じている方も安心してください。プログラム中のすべての授業と活動は英語で行われますし、参加していた生徒の中にもフランス語が話せない人が多くいました。さらに、英語を通してフランス語の授業を受けることができるため、一つのプログラムで英語とフランス語の両方を学ぶことができます。

滞在中はホテルでルームシェアをしながら生活していました。私は同年代の韓国人と同室でした。お互いに外国で英語を使って生活するのは初めてでしたが、たくさん会話をしたり、文化を教え合ったり、一緒に映画を観たりして、とても良い関係を築くことができました。自由時間には、他の生徒たちと買い物に出かけたり、街の有名スポットを巡ったりするなど、多くの交流を楽しみました。Bordeauxには歴史的な建物が多く、滞在中の観光にもおすすめの場所です。

大学の授業では、フランス語に加えて、Bordeauxの歴史や貿易、ワインについて学びました。授業の英語レベルはB1からB2程度だと感じました。また、課外活動では博物館の見学やワインワークショップへの参加、さらにワインで有名なSaint-Émilionを訪れるなど、貴重な体験をすることができました。これらはどれも日本ではなかなか体験できないものであり、フランスの文化を実感することができました。

滞在中の食事は、ホテルの朝食ビュッフェを除いてすべて自分で準備していました。昼食は自動販売機でサンドイッチなどを購入し、ピクニックをすることが多かったです。夕食は友人とレストランに行ったり、スーパーで食材を購入してホテルで食べたりしていました。レストランに行き過ぎると食費が高くなってしまいうため、予算と相談しながらバランスを取ることが大切だと感じました。

この約2週間の経験を通して、自分の価値観を大きく広げることができました。さまざまな国の人々と交流し、多くの考え方に触れることができました。また、数々の活動を通じてフランスへの関心もさらに高まりました。今回の経験を、今後の長期留学に活かしていきたいと思います。

参加費用以外の経費

通信費 約4100円、交通費 約0円、食費 約3万円

滞在中の持ち参りの方がよいもの

乾燥対策、動きやすい靴（石畳の道のため）

参加してよかったこと

短い期間でフランスを堪能できる。
英語とフランス語の両方が学べる。

通学方法と所要時間

トラムを使って約30分

授業後や休日の過ごし方、参加した課外活動

街散策、カフェ巡り
博物館見学、ワインワークショップ

大変だったこと、困ったこと

トイレの便座がない時がある。

留学体験レポート

下関市立大学 協定校



所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 菊井 京華
派遣大学： 北京大学
派遣国／地域： 中国／北京
派遣許可期間： 2024年9月～2025年8月
履修期間： 2024年9月～2025年7月

私の北京大学留学記

中国には“读万卷书，行万里路”（万巻の書を読み、万里の道を行く）という諺があります。書物から得る知識に加えて、実際に自らの足で世界を歩くことによってしか得られない見聞を広げ、教養を深められるという意味です。中国留学の経験を終え、まさにこの言葉がぴったりの1年間だったと実感しています。

私は大学3年生9月から大学4年生7月までの約1年間、北京大学に交換留学をしました。北京大学は中国を代表する名門大学であり、歴史ある美しいキャンパスと世界中からの優秀な学生が集まる環境に惹かれて留学を決意しました。語学力の向上はもちろん、新たな環境に身を置いたことにより、人間的な成長にも大きく繋がる貴重な経験となりました。

北京大学の授業は世界各国から集まる留学生のクラスで編成されています。特に私は経済学部のため、選択科目のビジネス中国語の授業に力を入れました。日本の授業スタイルとは異なると感じた点は、クラス全員が毎授業で自分の意見をしっかり持ち、積極的に発言していたところでした。私はディスカッション形式の授業に慣れていなかったため、最初は戸惑いもありましたが失敗を恐れずどんどん会話したおかげで会話力が向上しました。私たち留学生の共通言語は中国語なので、授業中、休み時間、一緒に学食に行くときなど全ての時間を中国語のみで交流しました。また、定期的に中国語でのプレゼンテーションや、中国語大会ではクラスのみみなでお笑い劇を披露しました。日中交流会サークルでは中国人学生に日本文化を紹介する場面もあり、自分自身のルーツを見つめ直す機会にもなりました。北京大学の学生は週末であっても朝から晩まで図書館で黙々と勉強に取り組んでいます。彼らの学びに向き合う誠実さと情熱に深い感銘を受け、私自身も学ぶことへの意識が高まりました。

北京での実際の生活でも、私は“行万里路”を体現しました。北京市内にある頤和園や故宮博物館など多くの歴史的観光名所を訪れ中国文化に触れました。また、スマホ1台で完結する買い物や交通機関の利用など、中国社会におけるハイテク化の進展を、日常生活のあらゆる場面で実感しました。そして、実際のタクシーでの会話や値切り交渉など、教科書には書かれていない現地の人々のリアルな会話や習慣を肌で理解することが出来ました。

私は将来中国での現地就職も視野に入れているため、今回の留学経験は私の将来の進路選択に確かな自信と土台を築いてくれました。今後も日中の架け橋となれるような存在を目指し引き続き努力していきます。

最後に、留学を支えてくださった先生方、家族、そして出会った全ての方々から心から感謝申し上げます。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,250 円/年
- ・ VISA 申請代金 2,250 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法：賃貸アパート)

滞在費	約 100,000 円/月	入居申請料	0 円
食費	約 20,000 円/月	水道光熱費	約 1,200 円/月
通学費	徒歩通学のため不要		
携帯電話代金	約 1,960 円/月	インターネット代金	約 3,000 円/月
授業料	北京大学に納付		
履修登録料	不要		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前期約 3,500 円 / 後期約 3,000 円	

履修

前期	中级汉语精读, 中级汉语口语, 中级听力	合計 3 単位
後期	高级汉语精读, 高级汉语口语, 高级商务汉语, 影视汉语	合計 4 単位

参加した活動 日中交流会

メッセージ

派遣留学して良かったこと

- ・世界各国の友達が出来たこと
- ・HSK に合格したこと

留学を考えている人へのメッセージ

大学時代の経験は将来必ず役立つので、迷っているなら後悔しないように絶対行くべきです！

派遣留学したことが不利益になったと感じること

家賃が高すぎる

持って行った方が良いもの

常備薬
(中国はネットで何でも購入できます)





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 社林茉奈
派遣大学： 北京大学
派遣国/地域： 中国/北京市内
派遣許可期間： 2024年9月～2025年8月
履修期間： 2024年9月～2025年6月

中国の朝ご飯文化

中国では朝から営業している飲食店が多いです。これは、中国が全体的に朝ご飯を食べることを重要視する文化があることが理解できます。早いところでは6時台から開店しており、主に中国式肉まん、お粥、麺類、揚げパンなど定番メニューは各地方によって少し異なりますが、どの店舗も種類が非常に豊富です。人気なお店は朝から並ぶ必要があるほど盛況しています。このように中国では朝から既に活気があることが見て取れます。大学の食堂も7時には開店していて、8時から始まる授業に支障なく参加することができます。私は、日本で生活しているときは、いつも朝ご飯は家で自炊して食べていることが多かったのですが、中国に留学に来てからは、外で食べる機会が増えました。外で食べるメリットとして、本場の中国料理が堪能できること、そしてその価格も昼や夜の価格に比べて安価であるということです。1人当たり100～200円でお腹いっぱいになることができます、簡単に言うと中国の外食は日本に比べて非常に安価です。さらに大学の食堂であればある人は、100円以内に出費を抑えることができます。これは中国で朝ご飯を食べなければむしろ損をしているのではないかと思います。朝ご飯を食べることで授業にも集中でき、一日のエネルギー効率も上がります。私は、元々朝ご飯をしっかり摂取する人間であったので中国のこの朝ご飯文化は私の生活習慣にとっても合っていると思います。しかし、1つ懸念点として朝ご飯のメニューのギャップがあることが挙げられます。私が生活を拠点としていた北京では、小麦を中心とした肉まんや揚げパン、麺類が豊富ですが日本人の私たちの主食であるお米を使ったメニューがありません。中国にいる間、週に一回ペースで朝ご飯を取り扱う店に足を運びましたが、ご飯を取り扱う店を見たことがありません。これにはカルチャーショックを感じました。朝ご飯に扱う主食が異なるのです。昼や夜になるとご飯を使ったメニューはもちろんあります。中国でもお米は重要な主食の一つでありますので、しかし朝ご飯にはないのです。もちろん、コンビニで売られているおにぎりを買えば、確かに私の求めているお米は食べることができます。しかし、それと私が真に求めている朝ご飯の姿は少し異なります。家で食べるような温かさを感じるあの食卓を求めているのです。しかし、これは文化による違いなので私は受け入れます。中国の料理はいつも温かいものが提供されるので私はとても大好きです。そして、量も多めです。満足度が非常に高い美味しい料理です。この留学期間で中国の本場の料理をたくさん堪能し、色々な発見もありました。この感動と貴重な経験は今後も忘れることはありません。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,910 円/年
- ・ VISA 申請代金 2,250 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法：賃貸アパート)

滞 在 費	90,000 円/月	入居申請料	90,000 円
食 費	12,000 円/月	水道光熱費	3,000 円/月
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	1960 円/月	インターネット代金	800 円/月
授 業 料	北京大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		2000-3000 円/月	

履 修

前 期	中国語精読中級①、中国語口語中級②、中国語リスニング	合計 3 単位
後 期	中国語精読中級②、中国語口語中級③、歌を聞いて中国語を学ぶ	合計 3 単位

メッセージ

派遣留学して良かったこと

思い切って一年留学したことによって中国語の日常会話をマスターできたこと。

留学を考えている人へのメッセージ

留学に行くことにおいて何か達成したいことを検定の合格以外に設定しておくとう有意義に過ごすことができますと思います。検定のために行くのは個人的におすすめしません。

派遣留学したことが不利益になったと感じること

一年間日本の大学に穴をあける形で留学に行ったので、日本で本来できるはずであった物事が上手く進まなかった。

持って行った方が良いもの

ある程度の現金(その国の)、食べなれているインスタントフード、医薬品など。





所 属： 経済学部・ 国際商学科
氏 名： 山口 佑香
派遣大学： ルートヴィヒスハーフェン経済大学
派遣国／地域： ドイツ/ルートヴィヒスハーフェン
派遣許可期間： 2024年9月～2025年8月
履 修 期 間： 2024年9月～2025年7月

予想外のことが待っている

私が留学を志したきっかけは、もともと異文化交流が好きであったことに加え、新しい環境に身を置くことで自分を成長させて視野を広げたいと考えたからです。中でも、ドイツという国に対する関心が高まり、最終的にドイツ留学を決意しました。

ドイツ留学にあたり私が期待していたことは、主にドイツという国についての理解の深化、ドイツ語能力の向上、大学での学習、現地の人々との交流でした。いずれも留学を考える際に多くの人が思い描く一般的な期待であったと思います。留学は旅行とは異なり、その国の良い面だけでなく課題や問題点までも目に見ることができます。同時に、日本の良い点や改善すべき点も客観的に見えてきます。また、その国で実際に生活することは、システムや文化を理解するところから始まるものであり、私にとって非常に価値のある経験となりました。

実際に留學生生活を送る中で、当初の期待だけでなく予想外の学びもありました。まず、さまざまな文化的背景を持つ人々と関わることができたことです。ハーフの学生や、出身国はドイツではないものの大学4年間をドイツで学んでいる学生、移民として別の国から移住してきた学生など、一つの小規模な大学の中にこれほどの多様性が存在していることに驚きました。そして、それを当然の環境として受け入れている学生たちの姿から、自分自身もさらに学ぶべき点が多いことを痛感しました。留學生同士の交流を通じて多様な国から来た人々とも知り合い、その後、実際に彼らの出身国を訪れる機会も得ました。文化の違いとは、単に宗教や食文化の違いだけではなく、その国の歴史や風土など多面的な要素で成り立っていることを実体験を通して学ぶことができました。

次に、考え方の変化です。日本では物事が計画通りに進むことが多いですが、海外ではそうはいかない場面が少なくありませんでした。問題が発生した際には、言語や文化の壁も相まって予想外の方向に事態が進展することもありました。一つの課題を解決すると、すぐに新しい課題が出てくるという繰り返しでした。留学前の私はかなり心配性で、予想外の出来事に直面するとすぐ焦ってしまう性格でした。しかし、今回の留学を通して、物事が思い通りに進まなくても落ち着いて対処し、別の解決策を柔軟に考えられるようになりました。

以上のように、留学を経て当初の期待を大きく上回る学びを得ることができました。それは決して留学前には予想できなかった貴重な経験です。この経験が今後の進路や就職に直接的に結びつくかはまだ分かりませんが、間違いなく私の人生を豊かにする財産となりました。

経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,250 円/年
- ・ VISA 申請代金 13,000 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法: **ルームシェア**)

滞 在 費	55,000 円/月	通 学 費	10,000 円/期
食 費	20,000 円/月	携帯電話料金	1,600 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		5,000 円/学期	

履 修

前 期	International Corporate Strategy, An Introduction to Business English, DeutschA1.1	合計 13 単位
後 期	Production Planning, International Management, DeutschA1.2	合計 13 単位

メッセージ

派遣留学して良かったこと

様々な文化的背景を持つ人たちとの交流を通じて自分の価値観や考え方を見直すきっかけになったところ。日本を客観的に見れるようになったこと。

派遣留学したことが不利益になったと感じること

特になし

留学を考えている人へのメッセージ

留学の経験は留学が終わればそこで終了するものではなく一生の宝物となって人生を豊かにしてくれます。この経験をぜひしてほしいと願っています。

持って行った方がよいもの

1人前のお米が炊ける器具、暑さ対策グッズ (エアコンがついてないので夏がかなり大変)





所 属： 経済学部・経済学科
氏 名： 神田 裕希
派遣大学： 東義大学校
派遣国／地域： 韓国／釜山広域市
派遣許可期間： 2025年3月～2026年2月
履修期間： 2025年3月～2025年12月

東義大学校での留学を終えて

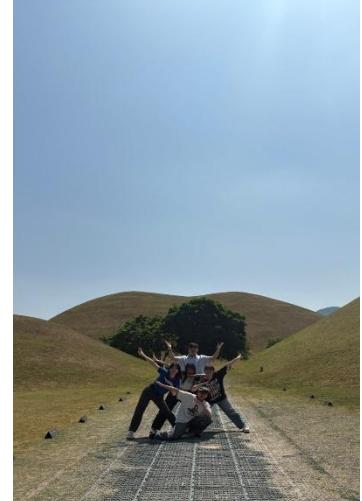
2025年3月から12月までの間、韓国の東義大学校に留学しました。大学に入学するまでは韓国語を勉強したことがなく、ハングルを書ける程度でしたが、国際交流センターのイベントや短期語学研修を通して挑戦してみたいと思うようになりました。本格的に留学しようと決めてから選考まで時間が無かった為、志望理由と面接対策に力を入れました。交換留学が決まった時はとても嬉しかったです。

留学が始まってすぐは分からない事だらけで、自分の韓国語の実力の低さを実感させられました。学校の先生やタクシートの運転手との会話が上手く出来ず、日常生活を送っていきけるのかどんどん不安になっていきました。ですがチューターや友人に助けをもらい、そのことに感謝すると同時に、翻訳アプリや友人に助けられてばかりでとても悔しかったです。私は韓国語を早く上達させるために、語学堂の出席はもちろん、毎日の予習復習は欠かさず行いました。勉強をしていく中で成長を実感することは少なかったですが、修了式ではクラス内で最優秀賞を頂きました。また、留学前は TOPIK2 級レベルでしたが、10月に受けた試験で TOPIK6 級を取得することができました。目標を超えた級を取得できてとても驚いたと同時に、成長を実感できました。

留学中に私は、現地の学生や他国からの留学生と積極的に関わりたいと思い、国際交流サークル ICE に加入しました。サークルに加入したのはいいものの、留学初期の私の語学力では意思疎通が難しく友人ができるか不安でした。しかしサークルではオープニングパーティーを始めとした様々なイベントが開催され、すぐにたくさんの友人ができました。日本に関心がある学生も多くとても嬉しかったです。また、様々な国籍の友人と関わる中で、世界は自分が思っているよりももっと広く、たくさんの文化・価値観があることに気づきました。留学を通してより外国への関心が高まり、色々な国へ行きたいと思うようになりました。

私が留学をして良かったと思うことは、自信がついたことです。今までは人と違うことをすることに恐怖心があり、挑戦することを避けてきました。しかし、語学堂で最優秀賞を取れたことや TOPIK6 級を取得したこと、何より外国で1年間生活したことが私を大きく成長させ、自信に繋がりました。大変なことも多かったです、それも全部自身の成長に繋がったと思います。

両親を初めとして、留学前からずっとサポートしてくださった国際交流センターの先生や、留学中に助けてくれた友人には感謝がありません。留学中は良いことばかりではなく困難もありましたが、それを超える素晴らしい経験ができました。これからも留学の経験を生かして、挑戦を続けたいと思います。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86910 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法：寮)

滞在費	58100 円/semester	入居申請料	0 円
食費	50000 円/semester	水道光熱費	0 円/月
通学費	0 円/期		
携帯電話代金	3500 円/月	インターネット代金	0 円/月
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)	6000 円/semester		

履修

前期	語学堂・ドラマ韓国語・旅行の技術	合計	4 単位
後期	第三保険論・21 世紀グローバル経済・多文化理解・TOPIK II・英語会話・日本文化の理解	合計	13 単位

参加した活動 国際交流サークル

メッセージ

派遣留学して良かったこと

語学力向上
多文化交流

留学を考えている人へのメッセージ

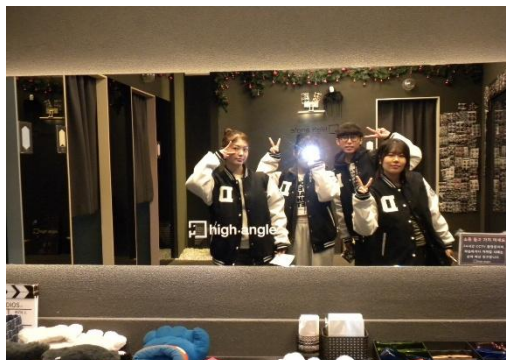
1 年間の留学は就職すると難しいです。
少しでも迷っているなら行きましょう！

派遣留学したことが不利益になったと感じること

特になし

持って行った方が良いもの

変換プラグ・日本食





所 属： 経済学部・公共マネジメント学科
氏 名： 大藪もえ
派遣大学： 東義大学校
派遣国/地域： 韓国/釜山
派遣許可期間： 2025年3月～2026年2月
履修期間： 2025年3月～2026年1月

東義大学校での留学から学んだこと

2025年3月から2026年1月末まで釜山の東義大学校で留学をしました。留学に行く前は読み書きに比べ、留学生活に特に必要な聞き取り、話す能力が無かったため1年間留学生活をやっているのかとても不安でした。しかし、語学堂でいろいろな国籍の学生たちと出会いそれぞれの形で頑張っている姿を見て、刺激をもらい積極的に発表したりクラスメイトに話しかけたりして韓国語に触れる機会を増やしていきました。テスト前だけでなく普段から復習、授業中に分からないことや気になることがあればすぐに先生に聞くようにしていました。先生方は皆さんとても暖かく、普段の生活の中で分からないことがあったときにも連絡をすれば、助けてくださいました。

また、バディー制度があり頼れる韓国人がいました。友人のバディーとも仲良くなり、その方には留学中ずっと困ったときに助けていただいたり様々なところに連れて行ってもらったりしてよい経験をさせていただきました。日本語ができない方で、意思疎通が難しいこともあったためより一層努力しなければいけないと感じることができ良い刺激となりました。

その他にも、国際交流サークルに加入し、様々な活動を通して韓国人や他の国籍の学生と関わることができました。春学期は韓国語能力の不足を実感し、あまり活動に参加できませんでしたが秋学期は参加できる活動はすべて参加しました。そのおかげで韓国人の知人が増え、サークル活動以外でも食事に行ったり、お酒を飲みに行ったりしました。1月には台湾の友人の誘いでバレーボールサークルの活動にも参加しました。友人と私以外は全員韓国人だったので緊張しましたが、優しい方ばかりで沢山声をかけてくださり、とても楽しく活動出来ました。最初はサークルに入るのはハードルが高いと思っていましたが入ってみて本当に良かったと感じています。

普段は、語学堂で仲良くなった友人たちと遊びに行ったりご飯を食べに行ったりして過ごしました。寮ではよく休憩室を利用していました。友人達と夕食を宅配して様々な話をする時間が一番幸せな時間でした。春学期の最初はルームメイトがいなかったのですが途中からミャンマー人の方と寮生活をしました。秋学期は日本人の先輩、1月は日本人の友人がルームメイトでした。ルームメイトに悩む時期もありましたがそれもいい経験だったと感じます。

開講祭や学祭にも参加しました。学祭では日本人全員で準備をして焼きそばを売りました。人数が多かったためぶつかることもありましたが楽しい思い出の方が多くやってよかったなと思います。また、春学期には留學生のためのダンス大会、秋学期には韓国語スピーチ大会と歌大会に出場しました。留学に行く前の私にはなかった行動力を身につけられました。特にスピーチ大会は4分ほどの内容をすべて覚えて前に出て一人で発表しなければならなかったため参加するか悩みましたが、やらぬ後悔よりもやる後悔だと考え挑戦しました。その結果賞をもらえることができ認められたと感じられました。

留学をしたことで沢山の経験をし、沢山の方に出会うことができました。心が折れそうになっても周りには助けてくれる友人や先生方、先輩がいたので留学したことを後悔したことは一度もありません。やりたい思ったことはすべて挑戦し、すべきこともきちんとこなす力を養うことができた、私の人生の中で一番濃い一年になりました。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 95,250 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法 : 寮)

滞 在 費	60,000~70,000 円/学期	入居申請料	0 円
食 費	50,000 円/月	水道光熱費	0 円/月
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	5,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)	6,000 円/学期	後期語学堂	60,000 円/5 週

履 修

前 期	語学堂 ドラマ韓国語	合計 2 単位
後 期	語学堂 21 世紀グローバル経済 多文化理解 英語会話 TOPIK II	合計 8 単位

参加した活動 国際交流サークル バレーボール部

メッセージ

派遣留学して良かったこと

日本ではできない沢山の経験をできる。
韓国だけでなく様々な国の人、文化に触れることができる。

派遣留学したことが不利益になったと感じること

三年生で留学に行ったため周りの人に比べて
就職活動のスタートが遅くなってしまう。

留学を考えている人へのメッセージ

少しでもやりたい気持ちがあるのなら挑戦するべき。
やらぬ後悔よりもやる後悔です！留学に来て後悔
したことはないのでもやってみるべきです。

持って行った方が良いもの

変換プラグ、現金、日本のお菓子、パソコン、薬





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 杉原風子
派遣大学： 釜山外国語大学校
派遣国／地域： 韓国／釜山広域市
派遣許可期間： 2025年3月～2026年2月
履修期間： 2025年3月～2025年12月

釜山外国語大学校での留学を終えて

2025年3月から約一年間、韓国にある釜山外国語大学校に留学しました。中学生の頃に韓国アイドルを好きになったことがきっかけで、韓国に興味を持ち、留学をしてみたいと思うようになりました。実際に交換留学が決まったときは驚きもありましたが、自分が挑戦してみたいと思っていたことに一歩近づいた気がして嬉しかったです。

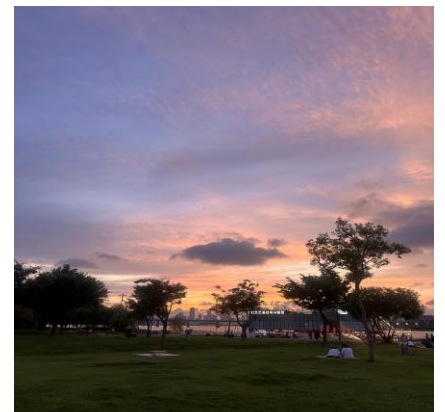
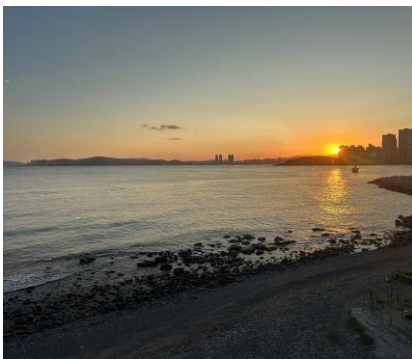
釜山外国語大学校での授業は、主に外国人専用の授業を履修しました。語学力に関して不安が大きかったこと、単位変換の関係で韓国語の授業を多く履修しました。韓国語の授業以外では、タンDEMや文化などの授業を履修しました。一人で受ける授業もあり、最初は授業についていけないかとても不安でしたが、授業中の先生の話をしっかり聞いたり、必ず予習・復習をしたりしていました。授業回数が増えていくうちに、だんだんと不安な気持ちも無くなっていきました。授業を通して、日本人だけでなく、韓国人や他の国籍の人とも仲良くなることができました。

大学の行事で印象に残っていることは、学祭です。アーティストの方たちが学校に来て、公演してくれるという、日本とはまた違う学祭の雰囲気味わうことができとても楽しかったです。アーティストの方たちを近くで見ることができとても嬉しかったです。

授業がない日や週末などは、友達や授業を通して仲良くなった子と、ご飯を食べに行ったり、カフェに行ったりしました。また、釜山だけでなく、慶州や大邱、ソウルなどいろいろなところに行くことができました。ずっと行ってみたいと思っていた場所に行くことができとても嬉しかったし、素敵な思い出を作ることができました。一番心に残っていることは、大好きな韓国アーティストのコンサートに行くことができたことです。ずっと韓国でのコンサートに行ってみたいと思っていて、まさか留学中に行くことができると思っていなくてとても嬉しかったです。また一つ心に残る思い出を作ることができたなと思いました。

この韓国留学が、私にとって初めての海外での生活ということもあり、不安な気持ちがとても大きかったです。またわからないこともたくさんありました。留学期間中は、留学先で仲良くなった韓国人や市大の先輩、国際交流センターの方々、両親、たくさんの人に助けられました。いろいろな方の支えがあり、充実した留学生活を送ることができたと思います。留学をしてみて、楽しいことや、大変なこと、ちょっとしたハプニングなどたくさんのことがありましたが、そのどれもが私にとって貴重な経験となりました。最初は長いのかなと思っていた一年の留学も、あっという間でした。その期間の中で、数えきれないほどのたくさんの経験ができ、本当に素敵な思い出を作ることができました。韓国に留学することができて本当に良かったと心から思っています。

何事にも挑戦してみようと思うことが大切のかなと留学をしてみて思うようになりました。これからもいろいろなことに挑戦して、たくさんの経験をしていきたいと思います。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 86,580 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法：釜山外国語大学校の学生寮)

滞在費	約 190,000 円/半期	入居申請料	0 円
食費	20,000 円/月	水道光熱費	0 円/月
通学費	0 円/期		
携帯電話代金	6,000 円/月	インターネット代金	0 円/月
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		前期：7,400 円	後期：7,800 円

履修

前期	日本語韓国語タンドム学習 I、大学韓国語 I、留学生のための韓国語練習 I、留学生のための韓国語練習 II、タンドムで学ぶ韓日文化 I	合計 15 単位
後期	留学生学習法、留学生生活と作文、大学韓国語 II、韓国語能力評価の理解 II、大学韓国語文法練習 II、韓国伝統文化の理解	合計 16 単位

参加した活動

メッセージ

派遣留学して良かったこと

留学中は楽しいことも大変なことも、いろいろあったけれど、貴重な経験をすることができて、本当に留学して良かったなと思いました。

留学を考えている人へのメッセージ

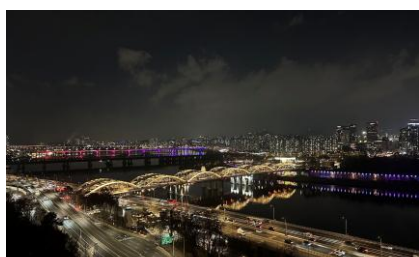
留学したい気持ちや、少しでも留学に興味があるなら挑戦してみるのがいいのかなと思います。

派遣留学したことが不利益になったと感じること

修得できる単位が少ないこと

持って行った方が良いもの

変換プラグ、薬





所 属： 経済学部・ 国際商学科
氏 名： 大島 美樹
派遣大学： 釜山外国語大学
派遣国／地域： 韓国／ 釜山
派遣許可期間： 2025年 3月～2026年 1月
履修期間： 2025年 3月～2026年 12月

留学で得た異文化理解と成長

私は大学2年生の時に、韓国の釜山外国語大学へ1年間の交換留学に行きました。幼いころから韓国の文化に強い関心があり、韓国語を話す機会を増やして語学力をさらに向上させたいと考え、留学を決意しました。大学では1年間韓国語を学習し、TOPIK2級を取得したうえで留学に臨みました。釜山外国語大学の交換留学制度は特別な資格を必要としないため、私のような学生でも気軽に挑戦できた点が大きな魅力でした。

留学中は、主に留学生専用の韓国語の授業を受講し、韓国語能力の向上に努めました。釜山外国語大学の韓国語の授業では、自身の語学レベルに応じてクラスを選択することができます。私は韓国語にあまり自信がなかったため、当初は授業についていけるか不安を感じていましたが、自分に合ったレベルや学習スピードで無理なく学ぶことができました。また、先生方はとても親身に指導していただき、授業内では韓国語だけでなく、韓国文化についても学ぶことができました。特に印象に残っているのは、韓国の伝統衣装である韓服を着用した体験です。同じクラスの留学生と韓服体験を通して交流を深めることができ、実際に体験することで韓国文化への理解がより一層深まりました。

韓国語の授業以外にも、留学生向けの韓国史や韓国文化に関する授業を受講しました。その中でも、特に受講してよかったと感じたのが「日韓タンDEM」という授業です。この授業は、日本からの留学生と日本語を学習している韓国人学生が共に受講することができます。この授業の良かった点は、互いの国に関心を持つ学生が多く、自然に韓国人学生と親しくなれたこと、韓国語で会話する機会が増えたこと、そして相互理解を深めることができた点です。私が留学中に仲良くなった韓国人の友人の多くは、この授業を通して知り合いました。授業では、互いの言語を使いながら自己紹介や自国紹介を行い、趣味や出身地、両国で流行していることなどをテーマに会話しました。また、課外活動を通して韓国ならではの体験をしたり、ペアとの交流をさらに深めたりしました。私は釜山の観光地を訪れたり、一緒に食事をしたりしました。この授業を通して、それまで知らなかったことや、韓国人学生のリアルな大学生活や日常について知ることができ、非常に貴重な経験となりました。

授業以外でも多くのことを経験することができました。休日には、日本人や韓国人の学生と食事をしたり、遊びに出かけたりしました。特に、釜山の有名な観光地を訪れたことは思い出に残っています。釜山には、きれいな海や釜山特有の住宅地など、釜山でしか見ることのできない観光地が多くあります。そのような場所を実際に訪れることで、釜山の街や文化について、より深く理解することができました。また、韓国の若者の間でどのようなことが流行しているのかや、食文化の違いなどを実際に体験することができ、これまではインターネット上で見ることしかできなかったため、非常に良い経験となりました。

留学を通して、語学力の向上だけでなく、新たな出会いを通じて異文化への理解を深めることができました。語学面で苦労することもありましたが、多くの経験を積むことで、人間的にも大きく成長することができたと感じています。

経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 約 86,000 円/年
- ・ VISA 申請代金 1 万円程度
- ・ 滞在中の経費 (滞在方法: 学内寮)

滞在費	3.5 万円/月	入居申請料	0 円
食費	1~2 万円/月	水道光熱費	0 円/月
通学費	0 円/期		
携帯電話代金	7000 円/月	インターネット代金	5000 円/月
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		1500 円/月	

履修

前期	日本語韓国語タンドム学習 I、大学韓国語 I、留学生のための韓国語練習 I、留学生のための韓国語練習 II、タンドムで学ぶ韓日文化 I	合計	15 単位
後期	留学生活と作文、韓国語能力評価の理解 II、外国人のための韓国史、韓国語と韓国文化、大学韓国語文法練習 II	合計	15 単位

参加した活動

特にありません。

メッセージ

派遣留学して良かったこと

人脈が広がりました。韓国人はもちろん、外国人や日本人の留学生とも仲良くなりました。韓国への理解度も深まりました。

留学を考えている人へのメッセージ

資格は必要なくてもある程度自信をもっていけばいいと思います！楽しみましょう^^

派遣留学したことが不利益になったと感じること

私の語学力では経済の授業は難しくて受講できませんでした…。

持って行った方が良いもの

日本食が恋しくなった時や、韓国人との交流のためにも日本のお菓子やカップ麺を持っていくことをお勧めします。





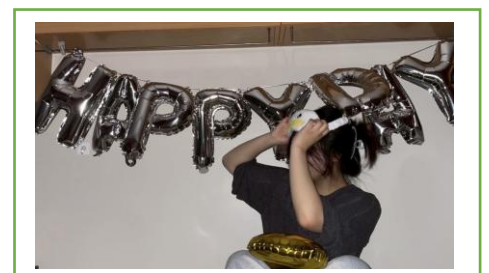
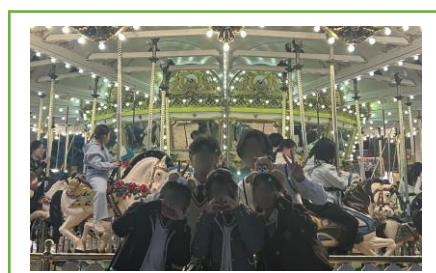
所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 片山麗奈
派遣大学： 木浦大学校
派遣国／地域： 韓国／務安市
派遣許可期間： 2025年3月～2026年2月
履修期間： 2025年3月～2025年12月

私は2025年の3月から12月に韓国の務安市にある木浦大学校に留学しました。留学を通して一番変わった部分は行動力だと思います。私はもともと、何かと面倒だという理由でなかなか行動に移さない性格でしたが、留学するためには準備の段階から書類提出やビザ申請などのやらなければならないことが多く、正直うんざりしながら準備を進めていたのですが、面倒だと思う気持ちと留学したい気持ちを天秤にかけたときにやっぱり韓国に行きたい気持ちが勝ったので、面倒くさがりである自分が唯一自分から挑戦したいと思った、その気持ちを大切にしつつ面倒なことに耐えながら1年走り抜けました。

学習面で辛かったのは行ってすぐのころ語学堂とチューター制度がなかったことです。どちらもあと聞いていたのに語学堂は事情があってしばらくできないと言われ、チューター制度は1学期の後半に始まりました。まずチューター制度ですが、これはなくてもなんとかなりました。むしろ自分でどうにかしなければならぬ状況に置かれたことで精神面が大きく成長しましたし、チューターでなくても友達が助けてくれたので問題はありませんでした。そして語学堂は夏休みに開講されました。語学堂の存在はありがたいですが、やはり人と関わりながら語学を伸ばす方が楽しかったです。韓国語で一番伸びたのは聞く力だと思います。留学前まではわからない単語が出てきたらそこから何も聞えなくなっていたのですが、何か月も韓国の方と話していると話の大まかな内容を掴む能力がついて、会話が一気に楽しくなりました。

そして何より、留学先で出会った友人には感謝の気持ちでいっぱいです。頑張って日本語で話そうとしてくれたり、日本の文化を理解してくれようとしていたり、とにかくいい人達に出会えました。留学中は大変なことの方が多かったですが、友人に支えられたから最後まで楽しく過ごすことができました。私が留学した年は、現地の同い年の学生が様々な理由で休学していたので、学校で知り合う人はほとんどが年下か年上でした。日本にいた時は同級生としか関わっていなかったのでいろんな年齢層の友人ができたのが初めは新鮮でしたが、深く関わると友人関係には年齢は関係ないということも知りました。留学を通してたくさんの大切な縁につながり、韓国にも自分の居場所ができたようで嬉しかったです。

私は留学を決意するまでに1年以上悩みました。本当は2年生の時に行こうとしましたが、勇気が出なくて申請を取り消し、3年生で申し込む前になってもまだ覚悟ができませんでした。迷うなら行くべきだという意見をたくさんの方にいただいたのですが、その意見すら疑いながらも行くことにしました。しかし迷うなら行くべきだというのは本当で、あれだけギリギリまで申し込むか迷っていたのに、今では留学しなかった自分の姿は想像が付きません。本当に行ってよかったと思います。留学を迷っている方に言いたいのは、私のような面倒くさがりな小心者こそ挑戦するべきで、挑戦の先には成長が待っているということです。留学の経験を糧に今後も様々な活動に積極的に取り組みたいです。



経 費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 90000 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：寮）

滞 在 費	147000 円/学期	入居申請料	0 円
食 費	30000 円/学期	水道光熱費	0 円
通 学 費	0 円/期		
携帯電話代金	4500 円/月	インターネット代金	0 円/月
授 業 料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)		0 円/月	

履 修

前 期	貿易実務論、近代日本の文学と社会、ビジネス日本語、日本伝統文化とスマートメディア、現代日本文化と ICT キャプストーンデザイン	合計 15 単位
後 期	国際金融論、国際マーケティング論、韓日地域文化の理解	合計 9 単位

参加した活動

MT、体育大会、貿易学科との文化交流プログラム、ワークショップ

メッセージ

派遣留学して良かったこと

授業で発表やグループ活動の機会が多いので度胸が身につく

派遣留学したことが不利益になったと感じること

就職活動で後れを取ることに

留学を考えている人へのメッセージ

迷っているなら絶対に行くべきです！

持って行った方が良いもの

とにかく多めの現金





所 属： 経済学部・国際商学科
氏 名： 花元 響子
派遣大学： 木浦大学校
派遣国／地域： 韓国／務安
派遣許可期間： 2024年3月～2025年2月
履修期間： 2024年3月～2025年12月

不安を乗り越えた 10 ヶ月

私は 2025 年 3 月から 12 月までの約 10 か月間、韓国・務安市に位置する木浦大学校に留学しました。この留学を通して、語学力の向上だけでなく、人とのつながりや計画性・行動力を身につけるなど、様々な面で成長することができました。

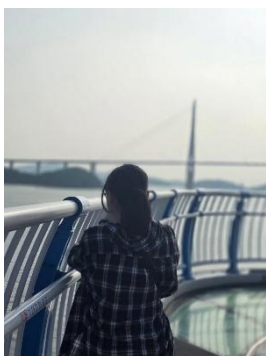
私にとって留学は高校生の頃からの夢であり、大学入学後の大きな目標でもあったため、留学が決定した時はとても嬉しかったことを覚えています。その一方で、大学 3 年生での留学は単位取得や就職活動への心配も大きく、期待と同時に不安も抱えていました。

実際に留学して最初に驚いたのは、一学期に語学堂が開講されなかったことです。例年はあると聞いていたため、語学堂に通い、韓国語能力試験 6 級取得を目指そうと考えていましたが、実際には開講されず、語学堂無しでどこまで語学力を向上できるのかが気がかりでした。また、一学期初めはチューター制度もなく、生活面でも上手くやって行けるのか戸惑いがありました。しかし、日語日文学科の授業を多く履修したことで、日本に興味を持つ先輩や後輩の皆さんと交流する機会に恵まれ、とても親切に接していただき、学習面と生活面、両方の面で支えてくださいました。特に、MT(Membership Training)や「さくらや」(日本の衣・食文化体験)といった学科行事にも参加させていただき、韓国の大学生活ならではの貴重な経験と思い出を得ることができました。

夏休みには短期間でしたが、語学堂が開講され、読み・書き・聞き取りを集中的に学びました。二学期には貿易学科の授業を中心に履修したため、貿易の専門用語がでてきたり、グループ活動をすべて韓国語で行わなければならない授業があったりと、慣れないことが多く、大変でした。特にグループ発表では、資料作成や原稿作りに多くの時間を要し、発表は時間制限付きだったので、時間内で発表できるよう、何度も練習を重ねる必要があり、ペーパーテストやレポート以上に苦戦しました。しかし、グループのメンバーや友人が力を貸してくれたおかげで、最後までやり遂げることができ、自信につながりました。

生活面では、日本人留学生の友人と共に様々な地方都市を訪れた経験が印象に残っています。その中でも麗水への旅行では自分で計画を立てることになり、麗水について事前に調べ、実行したことが強く印象に残っています。普段私は計画を立てることがないので、友人が楽しかったと満足してくれた事に喜びと達成感を得ることができました。また、高速バスでの交通トラブルや韓国で発行した通帳を紛失してしまうトラブルなどの困難にも直面しましたが、周囲の人や友人に助けを求めながら主体的に行動することで困難を乗り越えることができました。これらの経験から、計画性と行動力を養うことができたと感じています。

木浦大学校での約 10 か月間は、私にとって人生で最も大きな挑戦であり、かけがえのない思い出です。改めて、今回の留学生活を支えてくれた友人、木浦大学校で出会った先輩・後輩の方々、そして留学への背中を押してくれた家族への感謝を忘れず、今後はまず韓国語能力試験 6 級取得を目標に、新たな学びと挑戦を続けていきたいと考えています。また、今回の留学でできた友人を大切に、これからもこの縁を続けていきたいと思っています。



経費

- ・ 学研災付帯海外留学保険 94,900 円/年
- ・ VISA 申請代金 0 円
- ・ 滞在中の経費（滞在方法：学生寮）

滞在費	40,000 円/月	入居申請料	0 円
食費	25,000 円/月	水道光熱費	0 円/月
通学費	0 円/期		
携帯電話代金	4,500 円/月	インターネット代金	0 円/月
授業料	下関市立大学に納付		
履修登録料	0 円/期		
授業を受けるためのその他の費用(教科書代など)	2,400 円/月		

履修

前期	日本伝統文化とスマートメディア、現代日本文化と ICT キャップストーンデザイン、近代日本の文学と社会、ビジネス日本語、貿易実務論	合計 15 単位
後期	国際金融論、国際マーケティング論、韓日地域文化の理解	合計 9 単位

参加した活動 MT(Membership Training)、ワークショップ、文化体験 など

メッセージ

派遣留学して良かったこと

海外で暮らすという普段できない挑戦ができたこと。現地で沢山の出会いに恵まれたこと。

派遣留学したことが不利益になったと感じること

単位互換が想像よりも難しく、4 年次も多くの授業を履修しないといけないこと。4 年生から就職活動を始めるところ。

留学を考えている人へのメッセージ

留学は期待以上に不安もあると思いますが、挑戦してみると、忘れられない特別な思い出ができます。もし迷っているなら、一歩進んでみてください。

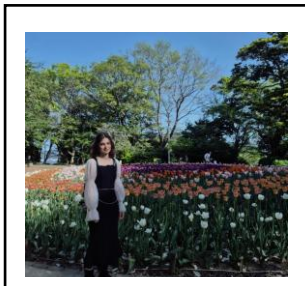
持って行った方が良いもの

現金、変換プラグ、常備薬



留学体験レポート

協定校  下関市立大学



氏 名 カライスマイログル ドウイグ
 所属大学 ルートヴィヒスハーフェン経済大学（ドイツ）
 留学期間 2024年9月～2025年8月

私は留学する前に日本に行ったことがなくて、ここに来るのを楽しみにしました。しかし、外国に住むのも一人暮らしをするのも初めてだったので、少し不安でした。最初は日本語の能力があまり高なくて、皆の話を聞き取ったり、話したりするのが大変でした。

しかも、自分だけがドイツから来た留学生だったので、少し寂しい気持ちになりました。でも友人ができてからは、毎日日本語で話すようになって、どんどん成長できました。チューターの二人も、いろいろ手伝ってくれるだけでなく、一緒に遊びに行ったりして、楽しい時間を過ごすことができました。

日本人だけでなく、さまざまな国の人たちと出会うことができ、思っていた以上に文化交流があり、とても良い経験になりました。母国にはない遊びも体験できて、とても楽しかったです。

留学生活では健康管理も大切だと思います。私は筋トレが好きなので、キャンパスにジムがあるのはとても便利だと思いました。ドイツの大学には運動するきっかけがあまりないので、ここではよく運動できて本当に良かったです。それと、下関にある綾羅木海岸で泳いだり、友人と遊んだりする中で、日本の夏を満喫することができました。

この留学を通して、多くのことを学び、忘れられない思い出ができました。

留学してよかったことは？

留学してよかったことは、文化交流ができたこと、日本語能力が伸びたこと、そしていろいろな場所に旅行できたことです。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語の授業、中国文化、アントレプレナーシップ、芸術、韓国語

留学中大変だったことは？

特にありません。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

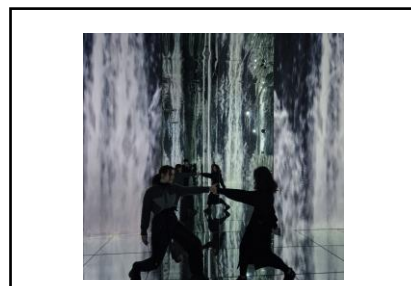
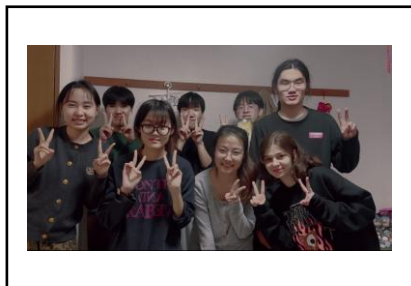
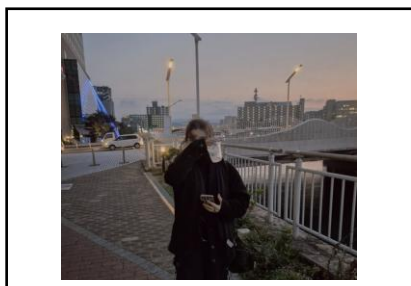
最初は話すことがあまり上手にできなくても、文法が間違っても、伝えたいことが伝わるまであきらめずに話し掛けてください。

留学中経験した方がいいことは？

いろいろなお祭りを見に行き、日本の文化を体験したり、旅行に行ったりするのがいいと思います。

下関市立大学の学生に一言！

この一年は、皆さんのおかげで本当に忘れられないほど楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。





氏 名 パク ジンヨン
所属大学 東義大学校（韓国）
留学期間 2024年9月～2025年8月

一年間の日本留学で最も良かったことは、さまざまな国の人たちと友達になれたことです。中国やドイツなど、いろいろな国からの留学生たちと同じ授業を受け、お互いの文化を共有することは、自国ではなかなかできない貴重で面白い経験でした。チューターの方々には、手続きや生活面での支援だけでなく、さまざまな活動を通して日本のいろいろなことを紹介していただき、とても良かったです。

また、国際交流センターのプログラムを通して下関市の美しい場所を訪れ、さまざまな文化体験もできました。特に印象に残っているのは、国際交流センターの紹介で参加した保育園でのボランティア活動です。園児たちと遊んだり、韓国の文化を紹介したりしたことで、楽しい時間を過ごすことができました。さらに、保育園の近くにある角島を訪れる機会もあり、とても印象に残りました。機会があれば、ぜひ皆さんにも参加してほしいと思います。きっと良い経験になるはずです。

留学生活の中でどの授業を選ぶかによっても、経験が大きく変わると感じました。私は芸術の授業を受け、きれいな下関市立美術館を訪れたり、美術品の展示方法について学んだりするという特別な体験ができました。また、スポーツの授業を通して、日本人学生とも交流することができました。

留学生活を通して変わったことは、何事にもより積極的に取り組むようになったことです。この一年間の時間を大切にしたいと思い、さまざまなプログラムに積極的に参加したことで、留学生活がとても充実したものになったと感じています。韓国に帰ってからも、ここで学んだことを活かして、引き続き積極的に行動していきたいと思っています。

留学してよかったことは？

日本、ドイツ、中国、ミャンマーなど、さまざまな国の友達と出会い、いろいろな体験ができたことが良かったです。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語の授業、スポーツ、芸術、コンピューター活用、英語

留学中大変だったことは？

20分～30分以上歩いて移動することが多くて自転車を買ったほうがよかったと思いました。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

スポーツの実践をとることをお勧めします。気軽にスポーツを楽しみながら日本の学生と交流することができます。

留学中経験した方がいいことは？

国際交流センターからのプログラムに積極的に参加する方がいいと思います。ボランティアや交流イベント、多文化カフェなどで色んなことが体験できます。

下関市立大学の学生に一言！

一年間楽しかったです。





氏 名 崔 玟壽

所属大学 東義大学校（韓国）

留学期間 2024年9月～2025年8月

下関での約1年の留学生活は本当に忘れられない1年になりました。

日本に来る直前まで一人暮らし、日本語能力や学校生活がずっと心配でしたが、いざ来てみるとそれは余計な心配だったなと思いました。

日本に来て間もない頃には、色々な手続きや学校生活をチューターの学生の方や国際交流センターの職員の方にサポートしていただいて、問題なく済ませることが出来ました。

春と秋学期の多文化カフェにファシリテーターとして参加し、日本の学生の方と文化を交流するだけでなく、中国・ドイツ・ミャンマーの文化や歴史をみんなでゲームしながら学ぶことが出来ました。

年末年始には東京旅行で初詣に行き、日本の文化を感じました。横浜の中華街で食べ歩きをするなど、とても楽しい体験ができました。

春学期からは写真部に入り、新入生歓迎会に参加し、サークルのみんなでバーベキューをしたり、蛍の写真を撮りに行ったり、学校から近い公園で花火をしたりと、サークル活動で思い出や様々な経験をする事が出来ました。

もうすぐ帰国するのが信じられないぐらい、1年があっという間に過ぎて、寂しさを感じるほど留学生活は楽しくて貴重な経験でした。韓国に帰っても、こんなに楽しい経験ができる交換留学を自信をもって周りの人や後輩におすすめしたいと思います。

留学してよかったことは？

留学に来て出会った方々が褒めてくれるので日本語に自信ができました。また、日本以外の国の文化を知ることが出来ました。

下関市立大学で履修した科目は？

国際経済学入門 日本語Ⅱd ミクロ経済学Ⅰ コンピュータ活用Ⅰ スポーツ実践 B
日本語Ⅰc マクロ経済学Ⅰ 簿記原理Ⅰ 日本語Ⅰd 経営情報学入門 経営学入門
日本語Ⅱb 経済学入門 商学総論 日本語Ⅱa 日本語Ⅰb 日本文化A

留学中大変だったことは？

今まで日本語を書くことがあまりなかったので講義が終わった後にミニッツペーパーを書くことが大変でした。また、韓国でよく使った食材を探したり買ったりするのが大変でした。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

サークルに入って色々な経験をするのをおすすめします。

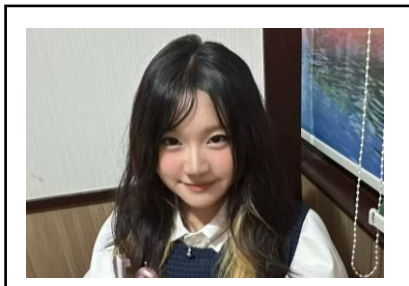
留学中経験した方がいいことは？

多文化カフェに参加して色々な国の文化や言葉を交流する事です。

下関市立大学の学生に一言！

一年間ありがとうございました。忘れられない一年でした。





氏 名 郝 翰林

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2025年9月～2026年1月

留学体験レポート

日本への留学は、私の人生において最も貴重な経験の一つとなりました。期待と不安を胸に日本に渡り、半年間の留学を終えて帰国しました。この期間を通じて、言語力の向上だけでなく、異文化への理解と自身の成長を実感することができました。

初めて日本に到着した時、言葉の壁と生活習慣の違いに戸惑いました。空港での案内表示は漢字が多く読めるものの、日常会話では聞き取れない単語やスピードに圧倒され、簡単な買い物さえ緊張する日々が続きました。しかし、学校の先生方の丁寧な指導と、クラスメイトたちとの交流を通じて、少しずつ日本語を使う勇気が湧いてきました。毎日のディスカッションやプレゼンテーションを通して、聞く力・話す力だけでなく、自分の意見を論理的に伝える力も養うことができました。

休暇中は東京、大阪、京都などの都市を観光し、日本の伝統文化と現代文化が融合した魅力を体感しました。さらに、私が履修した日本文化や多文化共生に関する講義を通じて、異文化コミュニケーションの重要性についても深く理解することができました。生活面では、日本の細やかな文化やマナーに触れることができました。電車内での静かさ、ゴミ分別の厳格さ、店員さんの丁寧な接客など、日本社会の秩序と思いやりを肌で感じました。

この留学を通じて、言語力の向上はもちろん、困難に立ち向かう力と異文化を受け入れる寛容さを身につけることができました。また、学習や生活には、先生方の親身な心配りと手厚いサポート、クラスメイトたちの暖かい情熱と助け合いにいつも支えられていました。日本で得た経験と知識、そしてかけがえのない人との出会いを大切に、今後は日中の架け橋となれるよう、更に学びを深めていきたいと思えます。

留学してよかったことは？

.....
留学を通して一番良かったことは、実際の日本の大学生活を体験できたことです。とても新鮮で、大変嬉しく思っています。

下関市立大学で履修した科目は？

日本事情 B、日本語総合 C、日本語総合 D、日本文化 B、日本語 I c、日本語 I d、多文化共生、下関の観光。

留学中大変だったことは？

.....
留学中、一番困ったことは虫が多いことで、家でクモをよく見かけました。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

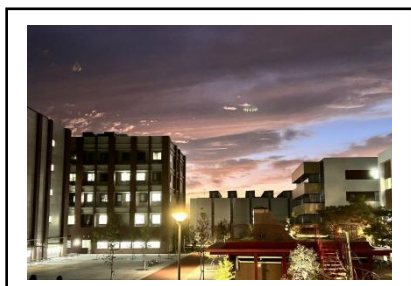
下関市立大学でしか感じられない特別な温かさを、ぜひ多く体感してほしいです。それはきっと素晴らしい思い出になるはずです。

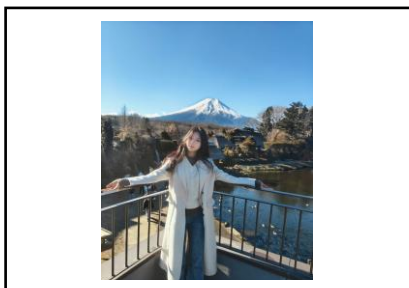
留学中経験した方がいいことは？

「日本事情」の授業では、先生が紅葉狩りに連れて行ってくださいました。心が落ち着き、自分の人生について深く考え、悟りを得られる、いい経験でした。

下関市立大学の学生に一言！

「心が通い合い、互いにつながることができれば、距離はもう遠くはない」





氏 名 邢柄柔 (ケイ・ヘイジュウ)
所属大学 中国の青島大学
留学期間 2025年9月～2026年2月

今回の留学を通じて、多くの貴重な経験と学びを得ることができました。特に印象的だったのは、学校の先生方の温かさです。授業中はもちろん、授業外でも気軽に質問に答えてくださり、学習面だけでなく生活面でも親身に相談に乗ってくださいました。そのおかげで、不安を感じることなく、充実した毎日を送ることができました。

また、様々な国から来た友人と出会えたことも大きな収穫です。一緒に授業を受け、食事をし、時にはそれぞれの文化について語り合う中で、視野が大きく広がりました。彼らとは今でも連絡を取り合っており、一生の財産となる友情を築くことができたと感じています。

語学面では、教室で学ぶ文法や表現が、実際の日常生活でどのように使われるのかを肌で感じることができました。スーパーでの会話、友達との冗談、地域のイベントでのアナウンスなど、生きた日本語に触れる機会が多く、教科書だけでは得られない「地に足のついた」表現力を身につけることができました。自分の日本語能力、特に会話力とリスニング力が確実に向上したことを実感しています。

この留学は、単に語学を学んだ期間ではなく、人とのつながりの大切さ、異文化理解の面白さ、そして自分自身の成長を促してくれる、非常に貴重な経験でした。心から感謝の気持ちでいっぱいです。ここで得たすべてを今後の人生に活かしていきたいと思っています。

留学してよかったことは？

茶道・日本舞踊・日本お握り・薙刀などのことを体験して、日本の文化に触れた。

下関市立大学で履修した科目は？

多文化共生 日本文化 日本事情 スポーツ実践 下関観光 ビジネス日本語 日本漢字 日本語発表 日本語聴解

留学中大変だったことは？

ゴミ分類。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

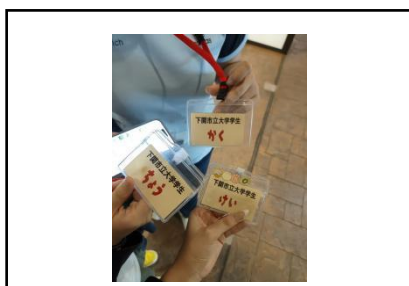
時間を大切にする。

留学中経験した方がいいことは？

時間を大切にする。

下関市立大学の学生に一言！

ありがとうございました。





氏 名 チョウ コウカ

所属大学 青島大学（中国）

留学期間 2025年9月～2026年2月

これまで自分の人生に、日本に留学し交流できるこんな機会が訪れるとは夢にも思いませんでした。この留学生活は、私にとってこの上なく貴重であり、人生においても非常に意義深いものです。最初に日本に降り立った時、期待と少しの緊張で胸がいっぱいでした。覚えています、初日の福岡は晴天で青空に白い雲が浮かび、まるで私の心情のように晴れやかでした。心の中でこう思いました：「きっとこれは新たに素晴らしい始まりになる！」と。

様々な国から来た友人たちに出会い、皆が優しく善良な人ばかりで、共通語である日本語で交流することで、この言語を学ぶことの重要性を実感しました。それだけでなく、先生方も熱心で、困っている時にはいつでも進んで手を差し伸べてくださいました。そして最も責任感にあふれ真摯なチューターさん！彼女には本当に多くのことを助けていただき、心から感謝しています。彼女がいてくれたからこそ、より安心して過ごせました。

もちろん、多くの日本文化も体験しました。教科書では学べないことばかりで、視野が広がり、本当の意味でこの文明的な国に足を踏み入れ、人生の方向性を見つめ直し、次第に意義を見出せるようになりました。この経験は忘れられないものになるでしょう。全ての助けてくださった方々に感謝すると同時に、自分自身にも感謝したいと思います。自分の努力があつてこそここに来ることができたのだと、本当に嬉しく思います！

留学してよかったことは？

留学で私はより勇敢になり、コミュニケーション能力や日本語が向上しました。日本の文化と生活を肌で感じ、何より将来のビジョンが明確になったことが大きな収穫です。

下関市立大学で履修した科目は？

日本語、ビジネス日本語、英語、下関観光、体育実践、日本事情、多文化共生、日本文化、漢字の授業

留学中大変だったことは？

最初は食習慣の違いから、食事に慣れるまで少し時間がかかりました。最初は会話に自信がなく、早い日本語も聞き取れませんでした。半年で確実に上達しました。

これから下関市立大学に留学する留学生へのアドバイスは？

学校で紹介してくれた下関酒造でのアルバイトは、私にとって初めてのアルバイト体験で、とても充実していました。また、多文化カフェでは日本語で中国文化を紹介する機会を得て、英語のアルバイトではご高齢の方々に英語を教えながら、自身の能力も磨くことができました。

留学中経験した方がいいことは？

留学では、積極的にアルバイトや交流活動に参加することで、語学力と実践力を同時に鍛えられました。現地での体験を通じて、自分の目標を見つけ、成長につなげることができました。

下関市立大学の学生に一言！

下関市立大学の皆様、温かいご支援に心から感謝します。この出会いが私の人生の大切な財産となりました。



» 2025 年度報告

在籍留学生数

5月1日現在

2025年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講学生		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	6		5	3	3	2	1	1	2		2	2			27
台湾															
韓国	1	1	2				8	1					2		15
ベトナム							3								3
ミャンマー	2														2
ドイツ													1		1
トルコ															
小計	9	1	7	3	3	2	12	2	2		2	2	2	1	
合計	10人		10人		5人		14人		2人		4人		3人		合計48人
	39人						6人								

2024年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講学生		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	7	3	3	2	1	1	2		2	1	1	1			24
台湾														2	2
韓国	3				3	1	7	2					1		17
ベトナム					3		1	1							5
ドイツ													1	1	2
トルコ															0
小計	10	3	3	2	7	2	10	3	2	1	1	1	2	3	
合計	13人		5人		9人		13人		3人		2人		5人		合計50人
	40人						5人								

2023年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講学生		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	3	2	1	1	2		2	2	1	1		1			16
台湾															0
韓国			3	1			9	4					4	1	22
ベトナム			3		1	1									5
ドイツ													1	1	2
トルコ															0
小計	3	2	7	2	3	1	11	6	1	1	0	1	5	2	
合計	5人		9人		4人		17人		2人		1人		7人		合計45人
	35人						3人								

2022年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講学生		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	1	1	2		1	2	9	1		1		2			20
台湾															0
韓国	3	1			5	4	4								21
ベトナム	3		1	1			3								8
ドイツ															
トルコ															
小計	7	2	3	1	6	6	16	2	0	1	0	2	0	0	
合計	9人		4人		12人		18人		1人		2人		4人		合計49人
	43人						3人								

2021年度	学部1年		学部2年		学部3年		学部4年		大学院1年		大学院2年		特別聴講学生		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
中国	2		1	2	6	1	7	3		2		3			27
台湾															0
韓国			5	4	4		1								14
ベトナム	1	1			3										5
マレーシア								1							1
パキスタン							1								1
ドイツ															0
トルコ															0
小計	3	1	6	6	13	1	9	4	0	2	0	3			
合計	4人		12人		14人		13人		2人		3人		0人		合計48人
	43人						5人								

海外留学等の体験者数

年 度		2020	2021	2022	2023	2024	2025
外国研修	英 語	-	-	-	12	10	10
	英 語 (フランス)	/	/	/	/	/	1
	中国語	-	-	-	-	16	14
	韓国語	-	-	-	18	15	12
	小 計	-	-	-	30	41	37
派遣留学	北京大学	-	-	1	2	2	-
	青島大学	-	-	-	2	1	1
	銘傳大学	-	-	2	1	1	-
	東義大学校	1	1	2	2	2	1
	木浦大学校	-	1	2	2	2	1
	釜山外国語大学校	2	2	2	2	2	1
	ハンシン大学校	/	/	/	/	/	2
	又松大学校	-	-	-	-	1	-
	C ロス・メダノス・カレッジ	-	-	-	-	-	-
	C ディアプロ・バレー・カレッジ	-	-	-	-	-	-
	C コントラ・コスタ・カレッジ	-	-	-	-	-	-
	D アルゴマ大学	-	-	2	-	-	/
	ボアジチ大学	-	-	1	2	2	1
	ルートヴィヒスハーフェン経済大学	-	-	4	2	2	-
	グリフィス大学	-	1	1	1	-	-
小 計	3	5	17	16	15	7	
国際インターンシップ	青島市(中国)	-	-	-	-	-	-
	大連市(中国)	-	-	-	-	-	-
	釜山広域市(韓国)	-	-	-	1	3	1
	シンガポール	-	-	-	8	4	4
小 計	-	-	-	9	7	5	
その他研修等		-	-	-	-	-	-
私費留学	中国語圏	-	-	-	-	-	-
	韓国語圏	-	-	-	-	-	1
	英 語 圏	-	-	-	9	2	4
	そ の 他	-	-	-	-	-	2
小 計	-	-	-	9	2	7	
合 計		3人	5人	17人	64人	65人	56人
年 度		2020	2021	2022	2023	2024	2025

この表は、派遣留学、単位認定を伴う科目での海外経験、外国研修や PBL 等の参加者、及び留学目的の休学を認められた私費留学の体験者数です。長期休暇中の海外旅行等は含んでいません。

※2020、2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため派遣留学等が延期又は辞退となっています。

海峡の英知。未来へ そして世界へ。

The wisdom of the Straits. To the future and to the world.

発行：2026年3月

編集：下関市立大学 国際交流センター

連絡先：〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号

電話 (083) 254-8693

FAX (083) 252-8099